AAP

アドボカシーガイド

～効果的なアドボケイトにつなげるために～

《翻訳版》

著作権 © 2009 American Academy of Pediatrics（米国小児科学会）
この出版物に含まれる情報の転載は、American Academy of Pediatrics に正しく帰属する限り、許可されます。

このアドボカシーガイドの内容は、Grassroots Solutions (www.grassrootssolutions.com) が、American Academy of Pediatrics Community Pediatrics Training Initiative、Division of State Government Affairs、Department of Federal Affairs と緊密に協力して作成したものです。Grassroots Solutions は、非営利団体、協会、労働組合、アドボカシーグループ、企業、政治キャンペーンなどを対象に、草の根の組織化とトレーニングを専門に行うコンサルティング会社です。Grassroots Solutions は、特に、アクセスしやすく、情報が豊富で、柔軟性があり、包括的な性質を持つ、クライアントのためのアドボカシーおよびトレーニング教材の開発を得意としています。本ガイドは、アドボカシー活動のための資料として作成されていますが、個々の状況を考慮した上で変更することが適切な場合があります。

注意：本ガイドに掲載されている内容は、米国小児科学会（AAP）による推奨を意味するものではありません。AAP は、本ガイドに掲載されているリソースの内容について責任を負いません。ウェブサイトのアドレスは可能な限り最新のものを掲載していますが、随時変更される可能性があります。
このガイドには、AAP 以外の組織から提供された資料が含まれています。表現された声明や意見は著者のものであり、必ずしも AAP のものではありません。

目次

謝辞 v
序章 vii
Ⅰ. はじめに viii
Ⅱ. このガイドの内容と使用方法 viii
第 1 章：「何のために、どうして」アドボカシーなのか 1
Ⅰ. アドボカシーの定義 2
Ⅱ. なぜアドボカシーなのか？ 3
Ⅲ. アドボカシーと AAP 3
よくある質問 5
第 2 章：小児科医は普段からアドボカシーを実践している 9
Ⅰ. 小児科医の「ものがたり」の力 10
Ⅱ. 小児科医はこどもたちをアドボケイトするために特別な資格を持っている 10
Ⅲ. アドボカシー活動を自分の職責に合わせる 11
よくある質問 13
第 3 章：プロセスを学んで慣れる 19
Ⅰ. コミュニティ・アドボカシーの要点 20
Ⅱ. 州政府と連邦政府の基本 21
Ⅲ. AAP 組織内でのアドボカシー 23
よくある質問 25
第 4 章：アドボカシーの中核となるスキル 29
Ⅰ. 自分の関心のある課題を特定する 30
Ⅱ. 課題を前に進めるために目標を設定する 30
Ⅲ. 誰が決めるのか 31
Ⅳ. 意思決定者に影響を与える方法 32
Ⅴ. 意思決定者と交渉する 32
Ⅵ. 時間をかけて努力を継続する 33
よくある質問 35
第 5 章：私たちは一人じゃない - 参加の輪を広げる 45
Ⅰ. 数の上での強さを構築する 46
Ⅱ. より多くの人に参加してもらう 46
Ⅲ. より多くの組織に参加してもらう 48
Ⅳ. 対抗勢力を知る 49
よくある質問 51
第 6 章：メディア、コミュニケーション・アドボカシー 59
Ⅰ. メディア、コミュニケーション・アドボカシーとは？ 60
Ⅱ. なぜメディア、コミュニケーション・アドボカシーが重要なのか 61
Ⅲ. 効果的なメディア、コミュニケーション・アドボカシーの鍵：あなたのメッセージ 62
Ⅳ. メッセージを「ものがたり」につなげる 63
よくある質問 65

第７章：キャンペーンや選挙における小児科医の声 77
Ⅰ. なぜ政治的キャンペーンと選挙が重要なのか 78
Ⅱ. 課題を前進させるために政治的キャンペーンと選挙をどのように利用するか 79
よくある質問 82

謝辞

米国小児科学会（AAP）は、『アドボカシーガイド』作成にご協力いただいた多くの方々に感謝いたします。特に、州政府問題委員会、連邦政府問題委員会、地域小児科研修イニシアチブ・プロジェクト諮問委員会のメンバーに感謝いたします。開発期間中、彼らの指導とフィードバックが役に立ちました。また、査読者のSue Braga、Rick Bucciarelli, MD, FAAP、Dave Clark, MD, FAAP、Judy Dolins, MPH、Molly Droge, MD, FAAP、Cathy Fenner、Mana Golzari, MD、Jeff Kaczorowski, MD, FAAP、Mary Ann McCaffree, MD, FAAP、Kathryn Moore、Jackie Noyes、Lauren Rose, MD にも感謝の意を表したいと思います。 また、1 時間以内で取り組める具体的なアドボカシー活動のフレームワークを提供してくれた C. Andrew Aligne, MD, MPH にも感謝したいと思います。

AAP と密接に協力して本ガイドを作成してくれた Grassroots Solutions と、多大な貢献をしてくれた以下の方々に感謝の意を表したいと思います。

Jean Davis, Paula Fynboh, Jim Pawelski, Marjorie Tharp, Ian Van Dinther, Alanna Whybrew

最後に、アドボカシーストーリーを投稿してくださった方々に感謝の意を表したいと思います。これらの事例は、本ガイドブックに命を吹き込み、こどもたちのために活動を続ける意欲を私たちに与えてくれます。

このガイドブックの一部は、Dyson Foundation の資金援助を受けています。

AAP アドボカシーガイド

序章

*私たちの目的は、見過ごされている問題を見つけ、私たちの力の及ぶ限り、悪を正し、**改革を導入することである。***
-Isaac Abt、AAP 初代会長

Ⅰ．はじめに

米国小児科学会（AAP）アドボカシーガイドへようこそ。このガイドは、こどもたちと小児科医のためにアドボカシー活動を行いやすくするためのリソースとして作成されました。アドボカシーは、個々の解決策を超えて、より広範なシステムの変化を生み出し、その一部となる方法を提供するものであり、AAP の優先課題のひとつです。実際、アドボカシーは、小児科医が AAP に入会する最大の理由の一つです。アドボカシー活動を通じて、あなたのような小児科医やレジデントは、こどもたちの健康と well-being を守るために、地域社会の規範や公共政策を変えることができます。このガイドは、アドボカシーを始めたばかりの方にも、経験豊富な方にもお勧めです。

このガイドでは、こどもたちの健康と well-being に、前向きで永続的な変化をもたらすために、あなたの声をどのように利用するかについて、ヒントやツール、他の小児科医の実例を紹介しています。アドボカシーは、さまざまな方法で、さまざまな場面で、さまざまなレベルで行うことができます。アドボカシー活動に参加することで、近年増加しているより広いコミュニティや公共政策の分野でこどもたちの健康や well-being のために行動する意欲を持つ小児科医や小児科レジデントの仲間入りすることができます。

Ⅱ．このガイドの内容と使用方法

このガイドでは、以下のような情報、説明、支援体制を提供しています。

- 小児科医や小児科研修医としての信頼や個人的に経験した「ものがたり」から変化につなげる方法
- 地域社会、州、連邦レベルで、自分が関心のある問題を代表してアドボケイトする方法
- 公共政策の決定プロセスの要点を理解し、そのプロセスがあなたのアドボカシー活動とどのように関連するかを素早く理解する方法
- こどもたちの健康と well-being に焦点を当て、支援するように意思決定者を動機づける方法、あなたやあなたの患者さんにとって重要なこどもの健康問題に関心のあるコミュニティの仲間を見つけ、協働する方法
- メディアと協力して、あなたがケアを提供しているこどもたちや家族に影響を与えている問題について、より広い認識と理解を得る方法

- 法的に認められている政治的なキャンペーンや選挙活動を通じて、政治家にとって患者が優先事項であることをアピールする方法
- AAP、所属支部、およびあなたが関心を持っている問題に取り組んでいる他のグループを通じて、追加のリソース、情報、および研修の機会を見つける方法

AAP は、患者のために地域社会や政策を変えるためのアドボカシー活動を、迅速かつ簡単に行えるようにするために、このガイドを作成しました。各章は一貫したフォーマットで作成されているので、必要な時に必要な情報を手に取ることができます。そのため、各章の間には重要な概念の繰り返しが見られることがあります。また、各章は対話形式で書かれており、ご自身の経験や関心事、「ものがたり」が各章のトピックとどのように関連しているかを自由に探っていただけるようになっています。各章の構成は以下のようになっています。

章の概要

概要では、その章のトピックがアドボカシー活動にとってなぜ重要なのか、また、そのトピックがどのようにあなたのアドボカシー活動をより効果的にするのかを説明しています。概要では、その章の中核となる概念や定義を簡単に理解していただくことを目的としています。

よくある質問（FAQ）：よくある質問とその回答

このインタラクティブな質問と回答のセクションでは、その章で得られた主なスキルやポイントについて詳しく説明しています。また、実際に小児科医の方から寄せられた多くの質問に対応できるよう、質問と回答の形式になっています。

「ものがたり」

各章には、他の小児科医による実際の「ものがたり」や事例が掲載されています。
これらの実例は、多忙なスケジュールの中で、アドボカシーのトピックを自分の経験にどのように適用できるか、状況やアイデアを考えるのに役立ちます。

AAP 第1章

「何のために、どうして」アドボカシーなのか

*アドボカシーとは、簡単に言えば、**患者さんのために声を上げることです。**アドボカシーとは、変えなければならない問題があることを前提とし、その変化をもたらしたり、それを促したりする方法です。アドボカシーは、一人の患者を治療することから、組織的に活動する擁護者の幅広いネットワークの一部となることを可能にします。*

Ⅰ．アドボカシーの定義

アドボカシーとは、簡単に言えば、患者さんのために声をあげることです。アドボカシーは変化を必要とする問題点がそこにあることを前提として、その問題点を解決するために必要な手段です。小児科医としての活動において、アドボカシーには個人、地域、州、連邦の 4 つのレベルがあります。このガイドでは、地域、州、連邦のアドボカシーに焦点を当てていますが、個人のアドボカシーを理解することも重要です。なぜならそれは、小児科医としてのあなたの役割に欠かせないものだからです。以下に定義を考えてみましょう。

個人レベルのアドボカシー

個人レベルのアドボカシーとは、あなたが日々患者さんに提供している直接的なケアやリソースのことです。個人レベルのアドボカシーとは、個々の患者さんの健康と well-being を向上させるために、あなたがすでに行っている活動を指します。これには、個々の患者さんに代わって、保険会社、学校、他の医療機関、または社会サービス機関に連絡することなどが含まれます。個人レベルのアドボカシーは、このガイドで取り上げている地域、州、連邦レベルのアドボカシーに容易に移行することができます。なぜなら、それぞれのレベルのアドボカシーの核心は、こどもの健康と well-being のために声を上げることだからです。

地域レベルのアドボカシー

地域レベルのアドボカシーは、あなたが専門家として関わる場で目にするこどもたちだけでなく、より広く地域社会のこどもたちに影響を与えるという点で、個人レベルのアドボカシーを基盤にして、それを発展させたものです。「地域」は、地理的（近隣、学区、都市など）にも、文化的（民族、人種、宗教など）にも定義することができます。地域レベルのアドボカシーでは、暴力への暴露、安全な遊び場、貧困、児童虐待、健康的な食品へのアクセスなど、こどもの健康に影響を与える環境的・社会的要因を考慮し、小児科医を含むこどもの擁護者が地域のパートナーと協力してこれらの問題に対処できるような方法を取り扱います。

州、および連邦レベルのアドボカシー

州、および連邦レベルのアドボカシーとは、こどもの健康に影響を与える公共政策、法律、規則を変えることです。州、および連邦レベルのアドボカシーを通じて、小児科医は自分の声と信頼を利用し、州または連邦レベルで患者に影響を与える公共政策の代弁をすることができます。

州レベルのアドボカシー

州レベルのアドボカシーには、こどもが受動喫煙しないように公共の場での喫煙を禁止する州法を小児科医が協力して成立させるといった、こどもの健康と well-being に関する問題や、メディケイドの支払率を上げるための資金調達などの小児科診療に関する問題が含まれます。州レベルのアドボカシー活動で最も一般的なのは立法府への働きかけですが、知事室、州機関や規制活動、予算プロセス、また司法府を通じて、州の行政府にアドボカシーを行う機会もあります。州レベルのアドボカシー活動は、米国小児科学会（AAP）支部と連携して、あるいは支部を通じて行うことが最も効果的です。

連邦レベルのアドボカシー

連邦レベルのアドボカシーでは、こどもの健康に影響を与える国の法律や法案を、あなたの声を使って代弁していきます。例えば、連邦政府は、メディケイドや母子保健ブロックグラントなど、州が運営するプログラムに対して資金を充当しています。小児科医として、メディケイドの資金を拡大したり、小児用医薬品の試験を義務付けたりするなどのアドボカシー活動に参加することができます。AAP の設立以来、小児科医は連邦政府のアドボカシーとして、毒物混入防止包装や州こども健康保険制度（SCHIP）などの創設に貢献してきました。

Ⅱ．なぜアドボカシーなのか？

個人レベルのアドボカシーが患者の生活に影響を与えるのと同じように、地域や州、連邦レベルでのアドボカシーは、あなたの地域や州、そして全米のこどもたちに意味のある持続的な変化をもたらすことができるのです。地域、州、連邦政府のアドボカシー活動により、一人の患者を治療することから、より広範なアドボカシーのネットワークの一員となり、こどもの安全と健康を守るための意識向上、教育、政策立案に組織的に取り組むことができるようになるのです。

このような体系的な変化を実現するためには、小児科医が地域社会や立法・政策レベルで、こどものために声を上げることが必要です。より多くの小児科医がアドボカシー活動に積極的に関わるようになれば、意思決定者や地域のリーダーは、小児科医がこどもの健康問題に関して専門知識を有していることをより認識するようになるでしょう。これは、患者の健康と安全のために働く、新しい地域社会の規範や公共政策につながる可能性があります。

Ⅲ．アドボカシーと AAP

小児科医は、自分たちが関わる患者のために、永続的で有意義な変化をもたらす強力な役割を果たすことができると、長い間信じてきました。実際、AAP は小児科医によって設立され、患者さんのためのアドボカシーが小児科医にとって最優先事項であり続けるよう支援をしています。

小児科医という職業がユニークなのは、病気や怪我をしたこどもたちを専門的に治療するだけでなく、予防の努力によってこどもたちの病気や怪我を引き起こす環境を変えるために、組織的に取り組むという姿勢にあるのです。このような理由から、AAP はアドボカシーを重要視しており、小児科医のトレーニングや認定プロセスにもアドボカシーが含まれるようになりました *。

AAP は、小児科医が力を合わせれば、こどもたちの健康が意思決定者から単なるリップサービス以上のものを得られるようになると信じているからこそ、皆さんを全力でサポートします。AAP は、小児科医には、こどもの健康と安全に積極的に投資する地域社会の規範や公共政策の構築を支援する力と信頼性があると信じています。

*Accreditation Council for Graduate Medical Education（大学院医学教育認定評議会）は、小児科レジデントプログラムに対し、「地域社会におけるこどもの健康のための擁護者としてのレジデントの役割を準備するための、計画的な教訓的・体験的な学習の機会と評価方法を備えた、体系的な教育経験」を提供することを求めています。（米国卒後医学教育認定評議会、小児科プログラム要件、2007 年 7 月）

FAQ よくある質問

アドボカシー活動についてもっとイメージできるように説明してもらえますか？

アドボカシー活動は、患者に影響を与える問題を特定することから始まります。次のステップは、意思決定者や解決策を生み出すことができる人たちにその問題を認知してもらうことです。これには地元紙に手紙を書く、問題を解決する力や影響力を持つ地域のリーダーや意思決定者に会う、同僚やあなたがケアをしているこどもの親、こどもに関わる地域の関係者などに参加を求めることなどが考えられます。

アドボカシー活動は、あなたの関心に応じて、さまざまな形や大きさがあります。重要なことは、どのような種類のアドボカシーに参加しても、どれだけの時間を費やしても、あなたの努力は、こどもたちの健康と well-being の向上に貢献している他の小児科医とつながっているということです。

「アドボカシー」という言葉は、長くて複雑で大げさなプロセスを表現するための空想上の言葉に過ぎないのではありませんか？

AAP が言うアドボカシーとは、個々のこどもや家族に提供しているケアや情報、リソースを、地域や州、連邦レベルで共有し、システム的な変化を生み出す手助けをすることを意味します。

アドボカシー活動に参加するには、自分が関心を持っている問題や、政治・立法過程についてすべてを知る必要があると考える人が多いようです。このようなことはありませんが、プロセスについては知っておく必要があり、本書はその知識を得るのに役立ちます。必要なのは、情熱と、患者のために発言しようという気持ちです。これは、支部での活動、メディアへの情報発信、選出された議員や意思決定者とのコミュニケーションなど、自分の好きな活動を通じて実現することができます。

アドボカシー活動は、多くの時間が必要なわけではありません。実際、アドボカシー活動に参加する多くの小児科医は、アドボカシー活動は自分がすでに行っていることの自然な延長線上にあると気付きます。さらに、多くの小児科医は、アドボカシーが、自分の職業やこどもたちの生活を改善したいという情熱をさらに深める若返りの活動であると感じているようです。あなたにとってアドボカシーとはどのようなものか、次のようなストーリーを考えてみましょう：

小児科医によるアドボカシーストーリー

メリーランド大学の Breathmobile プログラムは、様々なレベルで小児患者のアドボカシー活動となっています。Breathmobile は、無料の移動式喘息・アレルギークリニックで、ボルチモアとその周辺の十分な診療を受けていない地域の多くの学校で、予防的なケアを提供しています。私たちは、従来とは異なる多くの方法で患者さんを支援しています。

まず、私たちは、専門的な喘息治療を受ける機会が限られている家族のために、紹介状や保険を必要としない無料の診療を提供しています。また、一般的な喘息診察の枠を超えて、こどもたちの環境改善にも取り組んでいます。ネズミやゴキブリに過敏性のある喘息の児がいれば、家主に駆除を依頼する手紙を書いています。最近では、地元の喘息アレルギー財団のボルチモア・DC 支部と協力して、重度の喘息を持つきょうだいが高温多湿のボルチモアの夏を快適に過ごせられるよう空調設備を手配しました。

また、ボルチモア地域の教師、学校保健関係者、保護者、こどもたちを対象に無料の喘息教室を開催し、喘息の深刻さを地域社会に啓蒙することで、地域の学校やコミュニティで小児患者のために活動をしています。

また、ボルチモア市保健局と密接に連携して、喘息やアレルギーの専門的なケアを必要とする「リスクのある」学校を特定することで私たちのプログラムに参加しているこどもたちだけでなく、市全体のこどもたちのために活動を行っています。Breathmobile は、個々の患者のニーズだけでなく、地域社会全体のニーズにも対応し、さまざまなレベルでアドボカシーを実践しています。

メアリー・ボリンジャー , MD
メリーランド大学小児病院 , ボルチモア

地域レベルのアドボカシーと州・連邦レベルのアドボカシーの違いはなんですか？

地域レベルのアドボカシーとは、小児科医が地域社会と連携して、こどもの病気の根本的な原因を探り、予防活動を通じてその原因に対処しようという取り組みです。これには、病気の原因となっている行動を変えようとする教育や啓蒙活動に参加することも含まれます。州・連邦レベルのアドボカシーでは、小児科医は立法や行政レベルでの変革を目指します。これは、こどもたちの健康に影響を与える法律や規制を変更したり制定したりすることを意味します。地域レベルのアドボカシーは、時として州や連邦政府でのアドボカシーと重なることがあることを知っておくとよいでしょう。地域レベルで始まったことが、州や連邦の問題に発展することもあるのです。

例えば、あなたの仕事の中で、患者さんの多くが太りすぎであることが問題になっているとします。この問題に地域レベルで取り組むには、地域の学校や保育施設と協力して、こどもたちの食事に野菜や果物を多く取り入れたり、日常的なフィットネス活動を増やしたり、保護者向けの栄養教室を開いたりすることが考えられます。これを州・連邦レベルのアドボカシー活動として取り組むのであれば、放課後の運動や、学校でのより健康的な食品や飲料の選択のために資金を提供する法律の制定に取り組む活動が考えられます。

同様に、州法や連邦法が、地域社会が行動を起こすための手段やきっかけを提供することもあります。例えば、連邦法では、連邦政府の栄養プログラムに参加している地方教育機関に対し、管轄内の学校の栄養と身体活動に関する方針を策定することを求めています。小児科医は、これを利用して、地域社会の変化を提唱することもできます。

小児科医によるアドボカシーストーリー

私は、AAP の分科会のアドボカシーサミットに参加し、司法長官のセッションを聞きました。多くの司法長官が素晴らしいアドボカシー活動を行っていることを知り驚き、サミット終了後に私の地域の司法長官に訪問の約束をすることにしました。

司法長官は私たちに会うことをとても楽しみにしていました。彼女は、こどもたちの視点から校内暴力を調査していると話してくれました。彼女は全米を回り、中高生に、なぜ校内暴力があると思うのかについてインタビューしてきたのです。生徒たちは、問題を抱えたこどもたちのいじめが、彼らを校内暴力へと追い込んでいるのだと感じていました。

彼女は、私たちが訪問したとき、いじめを減らすために州として何ができるかを考えていました。私は彼女に、最近読んだ小児科の文献で、いじめを減らすことがこどもの体調不良やうつ病、自殺の原因を減らすことにつながるというものがあったことを伝えました。彼女は、学校がこの問題に対処するための法案をまとめるタスクフォースを結成すると言い、そしてそのタスクフォースの責任者に就くよう私に依頼してきたのです。

それから数か月、タスクフォースは会議を開き、小学校から高校までの学校でいじめに関する教育と対策を行うための法案を作成しました。そしてその 2 年後に法案は可決されました。これで、ワシントン州のすべての公立学校は、生徒、保護者、職員にいじめについての教育を行い、学校内でいじめを許さない方針を採用することが義務付けられたのです。タスクフォースでは、学校が使用できるカリキュラムとポリシーの例まで作成することができました。

ダネット・グラッシー , MD, FAAP
マーサーアイランド小児病院，マーサーアイランド，ワシントン州

AAP や私の支部には、このようなことをするロビイストはいないのでしょうか？

AAP には、多くの支部とともにロビイストがおり、こどもたちの健康と well-being のために公共政策の策定に貢献しています。しかし、ロビイストの仕事だけでは十分ではありませんし、1 人以上の情熱的で情報に精通し、地域社会を意識した小児科医に取って代わることはできません。AAP とその支部は、こどもたちの健康を代弁することができる熱心な会員を必要としています。小児科医としての独自の視点と信頼性、そしてこどもたちの健康のためのアドボカシー活動を行うことで、ロビイストだけではできないような方法で、関心のある問題を前進させることができます。小児科医の声は、社会の変化をもたらすのに欠かせないものなのです。

私はすでに毎日、患者さんを助けています。それはアドボカシー活動ではないのでしょうか？

患者とその家族を助けることは、個人レベルのアドボカシーとして非常に重要であり、ほとんどの小児科医が違う段階のアドボカシーに強い関心を持つ基盤となっています。しかし、多くの小児科医のリーダーたちは、「小児科はオフィスやクリニックの壁に留まるものではない」と言っています。アドボカシー活動は、小児科医を臨床や学術の場を越えて、こどもたちの健康と well-being、そして小児科診療についての決定を行う地域社会、州、連邦政府の場へとつながるのです。

そもそもなぜ自分が小児科医になったのか、その理由を思い返してみてください。多くの小児科医にとってその理由は、こどもたちの生活・人生に何か変化をもたらしたいと思いがあったはずです。本質的に、アドボカシーによって、自分の専門分野で接するこどもたちだけでなく、地域、州、あるいは全国のこどもたちの健康によい影響を与えることができるようになります。そしてそれこそが、小児科医がアドボカシー活動に参加する大きな理由です。

より多くのこどもたちを支援するだけでなく、多くの小児科医にとってアドボカシー活動はエネルギーと活力を与えてくれるものだと感じています。アドボカシー活動は、自分が最も情熱を注いでいる問題に、より深く関わる機会を与えてくれて、こどもたちの健康と well-being に影響を与える社会、教育、環境、政治などの幅広いシステムに変化を与えることができます。こどもたちの健康を、地域、州、国の優先事項にするために、積極的に活動する機会を与えてくれます。

アドボカシーは、コミュニティ、州、連邦政府の意思決定者やリーダーに本当に影響を与えることができるのでしょうか？

もちろんです！意思決定者の多くは、有権者によって選挙で選ばれています。そのため、彼らは有権者の考えを気にしており、有権者がいるからこそ、その仕事に就けているのです。彼らは、小児科医やこどもの健康に関心のある地域の人々から話を聞けば聞くほど、これらの問題が有権者にとって優先度の高いものであることを実感し、理解するでしょう。同じことは地域のリーダーにも言えます。地域のリーダーは選挙で選ばれるとは限りませんが、ある問題が地域で注目されればされるほど、その問題を解決したいと思う可能性は高くなります。アドボカシー活動を行うことで、地域のリーダーに影響を与え、自分の問題をサポートするために関与してもらうことができます。

AAP 第2章

小児科医は日常的にアドボカシーを実践している

*小児科医であるあなたは、こどもの健康問題について代弁できる**特別で有力な立場にあります。**この章では、いかに効果的なアドボカシーを行うか、また、日常的に行っている個人レベルのアドボカシーをいかに地域や州・連邦レベルまでひろげるのかについて説明します。また、それらの地域や州・連邦レベルのアドボカシーをあなたの日常業務に簡単に組み込んでいく方法ついて提示します。*

Ⅰ. 小児科医の「ものがたり」の力 ～問題を現実として捉える

多くの小児科医は、こどもたちの生活になんらかの変化をもたらしたいと願い、この職業を志したはずです。その変化とは、ある時は保護者にこどもの健康維持の方法を指導することであったり、またある時には、生命にかかわるような重要な治療を行ったりすることです。“変化をもたらす”には様々な定義はありますが、一つ確かなことは、あなたが変化を与えるそのこどもたちには名前も顔もあるということです。彼らは、あなたを日々最善な医療の追及へと駆り立ててくれる数々の「ものがたり」の登場人物です。

これらの「ものがたり」は、あなた方の多くをアドボカシー活動へ導くきっかけともなります。

- こどものヘルメット着用に関する法整備が不十分だったために生じた脳損傷のこどもを、あなたはもう二度と見たくありません。
- 手ごろな価格の保険にすら加入できず必要な予防接種や予防医療をうけられないこどもを、あなたはもう二度と見たくありません。
- 不十分な支払いや過度な規制によってこどもたちの医療を受けられる機会が制限されることを、あなたは望みません。

こうした「ものがたり」は、こどもの健康や well-being を改善するために政策やシステムの変更を必要とするより広範な問題を表します。

これらの「ものがたり」は、小児科医自身に変化を促す影響を与えます。あなたの「ものがたり」によって、報告書や統計だけではわからない問題を現実のものとします。こうして得られた“感覚”によって、地域のリーダーや議員、メディア、一般市民の注目を引き、あなたの問題や懸念を前進させることに役立ちます。

Ⅱ. 小児科医はこどもたちをアドボケイトするために特別な資格を持っている ～権威、信用、信頼性

小児科医としてのあなたを生来のこどもの代弁者としている要素はあなたの「ものがたり」だけでなく他にもあります。以下のことを考慮してみてください。

信頼性

小児科医としてのあなたには権威と信頼があります。日々の研鑽とその資格を前提として、小児科医は地域の中でも尊敬される立場にあります。地域のリーダーや議員、メディア、一般市民はあなたの考えに関心を持っています。彼らはあなたを信頼し、あなたが問題について発言すると、その問題の信頼性、正当性、重要性が増すのです。

必要なスキル

アドボカシーのスキルは、普段あなたが目の前のこどもたちのために使っているスキルとそれほど変わりません。小児科医として、こどもと円滑にラポールを形成し、両親の信頼を得る方法をあなたは良く分かっているはずです。あなたは、手短に問題解決策を見極め、何がおかしいのか、なぜ治療が必要なのか、そしてどのように治療するのかをわかりやすい言葉で説明することができます。そして、こどもたちが更なる医療や教育やリソースなどの支援が受けられる方法を提示できます。あなたの「ものがたり」を語り、信頼を得、問題点を提示し、解決のために必要なことをわかりやすく説明すること、これはまさにアドボカシーそのものです。

あなたは一人じゃない

あなたは、専門家としてだけでなく、地域に暮らす住民としてもこどもたちの健康、安全、well-being に携わる多くの仲間の一人です。声を上げることで、こどものことを考える他の人たちの声に加わることができます。あなたの声は、他の小児科医やこどもの代弁者の声と合わさり、こどもの健康のために前向きで持続的な変化を生み出すインパクトを持つことができるのです。

Ⅲ．アドボカシー活動を自分の業務に組み込む　～あらゆる貢献が積み重なる

アドボカシー活動をあなたの日々の業務に組み込む方法は沢山あります。あなたの仕事にアドボカシー活動を取り入れるには、次のことを検討してみてください。

アドボカシー活動に時間をかけなくても良い

アドボカシーはあなたの業務や忙しいスケジュールの中でも、短時間で簡単に組み込むことができます。例えば、ある小児科医は患者の予約時間の合間の 5 分間を利用して、気にかけている法案に関して州の代議士に電話をかけました。数日後、その代議士が州議会の場でその法案について言及し、このように述べました

「私の知っている小児科医がこの法案を支持すると言っています。もしこれが彼女の役に立つものであれば、それは間違いなく州のためにもなります。」

1 か月に 1 時間あるいはそれ以下の時間でこどもたちの健康に前向きで持続的な変化をもたらす役割を果たすことができるのです。週に何時間もアドボカシーのために時間を費やすことを決めている小児科医もいます。アドボカシー活動にどれだけの時間を費やしたとしても、一つ一つの貢献が積み重なり、こどもたちの健康や well-being に前向きで累積的な効果をもたらします。

関心や情熱の大きさに応じて優先順位をつける

すべての問題に対してアドボカシー活動を行う必要はありません。実際、アドボカシーに関していえば、取り扱う問題が少ない方が良いこともあるのです。最もインスピレーションを与えてくれる患者さんの話を思い返してみてください。自分が最も関心のある問題に優先順位をつけ、その情熱に従いましょう。地域社会、州、連邦のアドボカシーレベルなど、自分にとってベストだと思うレベルで参加することがよいでしょう。

米国小児科学会（AMERICAN ACADEMY OF PEDIATRICS: AAP）の支部と協力する

AAP 支部はすでに多くの地域、州・連邦レベルのアドボカシー活動に取り組んでいると思われます。支部と連絡を取ると、支部が取り組んでいることや、こどもの健康や well-being、臨床的な問題を解決するため参加する方法について詳しく知ることができます。

FAQ よくある質問

本当にアドボカシーは変化をもたらすのでしょうか？私はただの一小児科医です。

小児科医であるあなたには、変化をもたらす力があります。あなたには、なぜこどもたちの健康や安全のために変化や改革が必要なのかを説明できる、個人的で心に残る「ものがたり」があります。あなたの職業には信頼性と権威が備わっています。意思決定者や地域のリーダーを含むすべての人々は、あなたの話しに耳を傾けるでしょう。

さらにあなたは一人ではないということを知ることも重要です。あなたのアドボカシー活動は、全米の小児科医や AAP 支部が、自分たちの声と信頼性を活かして、こどもの健康問題に対するより広いシステムの対応方法を変えようとする大きな動きの一部なのです。あなたは、こどもの健康がより優先されることを望む、無数の小児科医、親、教師、こどもの擁護者の仲間です。そして、あなたの地域や州、そして全国のこどもたちのために、有意義で持続的な変化をもたらすことができるのです。

意思決定者は本当に小児科医の言うことに耳を傾けてくれますか？

小児科医として、地域のリーダーや意思決定者があなたの発言に影響を受けるのは、次のような理由からです。

にんげんのかおがみえる

あなたのユニークな「ものがたり」や視点は、意思決定者がその問題に人間的な表情を持たせるのに役立ちます。あなたの「ものがたり」は、データだけよりもずっと具体的です。あなたの「ものがたり」を共有することで、意思決定者は、その問題が地域社会に住むこどもたちに個人的にどのような影響を与えるかを理解することができます。

あなたは影響力を持っている

あなたの職業柄、他の市民にはできないような方法で、意思決定者に対応させることができます。

あなたの話は地域の他の有権者を代表している

意思決定者に連絡するとき、あなたは自分自身を代表するだけでなく、こどもやその家族、そして潜在的にこどもの健康と well-being に関心を持つ地域社会の他の人々も代表することになります。ある問題があなたにとって重要であれば、ほとんどの意思決定者は、その問題が他の人にとっても重要であると考えるでしょう。

どのように始めたらよいですか？知っておくべきことは何ですか？

まず、あなたが関心を抱いている問題を選ぶことから始めましょう。なぜその問題に関心があるのか、何を変えたいのか、その変化が患者にどのような影響を与えるのかを、数分間かけて考えてみましょう。

あなたは効果的な擁護者になるために必要なことの大半を、すでに知っているはずです。あなたは、自分には語るべき力強いストーリーがあることを知っています。また、あなたには地域社会での信頼性と影響力があり、意思決定者があなたの発言に関心を寄せていることも知っています。また、あなたの努力をさらに後押ししてくれる研究、事実、科学的根拠があることも知っています。

このガイドには、あなたが必要とするほぼすべてのものが含まれています。アドボカシー活動を始めるにあたって、意思決定プロセスの専門家である必要はなく、地域社会、州議会、議会の仕組みのすべてを知っている必要もないことを忘れないでください。このガイドでは、あなたが知っておくべきことの一般的な概要と、導くためのヒントシート、ツール、リソースを提供します。さらに、AAP の支部があなたをサポートすることもできます。

患者の守秘義務に違反することなく、自分の「ものがたり」を効果的に伝えるにはどうしたらよいでしょうか？

あなたの「ものがたり」に人間味を持たせるといっても、患者さんを具体的に特定する必要はありません。その代わりに、健康保険に加入していない 9 歳の少女や、スケートボードでヘルメットをかぶっていなかったために頭部に重傷を負った 14 歳の少年について、一般的な話をすることを検討してみてください。このような一般論を用いてあなたの話をすることは、患者の守秘義務に反することはなく、なぜ自分の問題が重要なのか、具体的なイメージを描くことができます。

アドボカシーの必要性は頭ではわかりますが、忙しくて時間がありません。どれくらい時間をかければ変化をもたらせるでしょうか？

月に 1 時間未満で、効果的なアドボカシーを行う方法はたくさんあります。意思決定者にメールを送るのに 5 分、地元紙の編集者に手紙を書くのに 30 分、地域の会合で話すのに 1 時間、支部の「Day at capitol」に参加するのに 1 日、どのような時間をとっても、あなたのアドボカシーは変化をもたらしています。
※「Day at the Capitol」は、AAP の支部が開催する、小児科医やその他の医療従事者が州議会やその他の決定者と会い、こどもの健康に関連する問題について議論し、擁護するためのイベントです。このイベントは、小児科医やその他の人々が議員やその他の決定者に対して自分たちの懸念や考えを伝え、立法がこどもの健康に及ぼす影響について教育する機会になっています。

小児科医としての今の業務にアドボカシーを組み込む具体的な方法を教えてください。

アドボカシーは短時間で簡単に毎日の業務に取り入れることができます。あなたの仕事にアドボカシーを取り入れるために、次のような方法を考えてみてください。

あなたのウェブサイトのトップページを地元新聞のウェブサイトに設定する

これによってあなたの地域で何が起こっているのか、誰が活動しているのか、誰が意思決定をしているのか、すぐに知ることができます。

地方新聞の編集者に短い論説か手紙を書く

地元の新聞で気になる記事を見たり、あなたが毎日接している患者さんの実態を反映した記事を見たりしたら、こどもの健康にとってこの問題が重要であることを新聞に簡潔に書くことを検討してみてください。起こりやすい問題については AAP に他の支部が作成した手紙や論説のサンプルがあるのでそれを確認し、適切であれば、あなたの地域の特徴に合わせて書くとよいでしょう。

支部、AAP、または自分が所属する団体からのアクションアラートに対応する

AAP を含む多くのアドボカシーグループは、電子的なアクションアラートを用意しています。自分の興味に合う問題を扱うグループからのアクションアラートを受信するよう登録することを検討してください。通常、電子的にアクションを起こすのに数分しかかかりません。

時間があるときに、関係者に簡単に電話をかけることができるように準備する

地域のリーダーや州・連邦政府の公務員の電話番号を携帯電話に登録しておきましょう。そうすれば、アクションアラートを受け取ったとき、スケジュールに余裕があるとき、または重要な問題があるときに、いつでもその番号に電話をかけられるようになります。

他の小児科医や医師、他の医療関係者や家族と話をする

小児科医として、あなたには多くの信頼があることを忘れないでください。同僚や一緒に働いている人たちに、あなたが関わっている問題の重要性について話し、自分たちがその問題をどのようにサポートできるかを伝えるために、数分時間を取ってください。

地域のリーダーや意思決定者をあなたの職場に招く

地域のリーダーや選挙で選ばれた議員を招待し、あなたの仕事場を見学してもらうとよいでしょう。そうすることで、あなたが関心を寄せているこどもや家族、問題を直接目にすることができるようになります。

レジデント教育プログラムでアドボカシーについて教える

レジデントにアドボカシーの重要性について話したり、グランドラウンドや午後のカンファレンスを通じてアドボカシーのスキルを教えたりする。

あなたの職場にその問題についての情報を掲示する

仕事場で、あなたが関心を寄せている問題に対する認識を高めるための情報の掲示を行う。例えば、その問題に取り組んでいる団体から最新情報を受け取るための登録用紙、その問題に関する意思決定者への手紙の書き方、有権者登録の資料など、自分のアドボカシー活動に他の人を参加させるための方法として掲示を利用する。

地域レベルのアドボカシーにおいて小児科医が果たせる役割には何があるのでしょうか？

小児科医が地域レベルのアドボカシーにおいて果たすことができる役割の例として、以下のようなものがあります。

- 地域のアドボカシー活動をしている団体と提携する
- 地域のリーダー、意思決定者、議員に対して、地域のこどもたちに影響を与える問題について情報提供する
- 意思決定者をあなたの専門分野や地域プロジェクトに招く
- 地域の集会やイベント、地元メディアで証言し、あなたの「ものがたり」を伝える
- 教育委員会のような、こどもの健康や well-being や利益を支援する組織の委員になる
- 学校、青少年団体、施設、チャイルドケア・センターなどに、医療に関する専門知識を提供する
- こどもの健康や well-being を改善する試みに参加してもらうように、保護者、教員、他の医療従事者に呼びかける
- 問題に対処するために、地域プロジェクトを開始したり、パートナーシップ、アライアンス、または連合を形成したりする

州・連邦レベルのアドボカシーにおいて小児科医が果たせる役割の例には、どのようなものがあるでしょうか？

小児科医が州・連邦のアドボカシー活動で果たすことのできる役割には、次のようなものがあります。

- 自分が強く感じているこどもの健康問題について、州や連邦の議員に手紙を書いたり、電子メールを送ったり、電話をかけたりする
- 自分が熱意をもって取り組んでいる問題についてネットワークを構築するために、支部活動に参加する
- 小児科医が連邦議員と関係を築き、小児科医としての専門知識を議員に提供することを支援する AAP Key Contacts※プログラムに参加する

※ Key Contact は小児科医が州・連邦議員と関係を構築し、専門知識を提供できることを目的に作られた AAP のプログラムであり、こどもの健康に関する重要な問題について、議員とコミュニケーションを図り、提案された法律が、こどもやその家族に与える影響について教育するために訓練を受け、必要なツールを手に入れるよう設計されている

- 地元選出の議員との関係を構築し、その意思決定者に信頼される情報源となる
- こどもの健康を優先する候補者に投票する
- ボランティア活動や寄付を通じて「こどもにやさしい」候補者を支持する
- 支部または他の州内のアドボカシー活動を行う団体の "Day at the Capitol " に参加する
- 州や連邦の公聴会で、支部や AAP 本部と協力して、自分が関心を持つ問題の代表として証言する
- 候補者フォーラムに参加する（候補者に質問する、候補者フォーラムの共催者として署名する、他の小児科医、医療従事者、児童擁護者に出席を呼びかけるなど）
- こどもの健康や小児科医療に影響を与える州や連邦の問題を支持するため、記者会見やメディアのインタビューに参加する

小児科医によるアドボカシーストーリー

私は、州支部を代表する 3 人のスピーカーの 1 人として、州議会で証言をするよう依頼されました。麻疹の流行から数年後、州保健局は 2 回目の MMR ワクチンの接種を義務付けることを決定していました。しかし、一部の議員たちは、このワクチン接種を「独裁者」が有権者の生き方にまで口を出すと考え、反対していました。

私の役割は、ワクチン接種がどのように実施され、それが州のこどもたちの健康にどのような影響を与えるか、医学的な大局を示すことでした。私は本当に緊張し、正直なところ、この重要なメッセージを伝えるのにふさわしい人物かどうか、疑問でした。私が話し終えた後、長年にわたって委員を務めてきた非常に力のある委員が、明らかに私たちの話に腹を立てて、私に直接こう言ったのです。「グロスマン博士、あなたは、この麻疹の流行によって、国全体で 120 人以上が死亡したと言いましたね。本当ですか？」と。私は「120 人以上が麻疹で死亡し、その半数以上が幼いこどもたちでした」と答えました。すると議員は、「たった 120 人ですか。今のところ全国民にとってはたいした脅威とは思えないですが」と言いました。

私は数分間言葉を失いましたが、気を取り直して、「私の考えでは、完全に予防可能な病気で不必要に亡くなるこどもがいるのであれば、1 人でも十分多すぎるのです」と言いました。その後、州保健局が学童に予防接種を義務付けることを禁止する法案はすぐに廃案となり、州のこどもたちは 2 回目のワクチンを受けるようになりました。

私の体験談は、こどものアドボケイトができること、そしてやらなければならないことを物語っていると思います。私たちは変化をもたらすことができます。そして、私たちは毎日、大きな方法で（時折）、小さな方法で（絶えず）、国中で変化をもたらしています。私たちが関わる若い患者は投票することができず、経済的、政治的影響力を持たないのです。

リンゼイ・K・グロスマン（MD）、FAAP
メリーランド大学小児科教授、ボルチモア、メリーランド州

AAP

第３章

プロセスを学んで慣れる

*小児科医の多くは、アドボカシー活動に取り組むにあたり、**地域レベル、州・連邦レベルのアドボカシー・プロセスの仕組みについて基本的な理解をしておくと便利だと感じています。**これらの複雑なプロセスについての専門家である必要はありませんが、一般的な知識は、アドボカシー活動を開始したり、前進させたりするのに役立つことがあります。この章の目的は、地域レベルのアドボカシー、州や連邦による政治、また立法アドボカシーの概要を提供することです。また、米国小児科学会（AAP）が既に構築しているシステムやその構成についても説明し、あなたの活動を支援、強化するために、どのように連携できるかについても説明します。*

Ⅰ. 地域レベルのアドボカシーの要点 ～全てのアドボカシーは現場で行われます

地域レベルのアドボカシーは、こどもの健康は地域の中の社会的、経済的、環境的、政治的要因によって影響を受けるという信念から生まれました。小児科医は、地域レベルのアドボカシーを通じて、より広いレベルでこどもたちに利益をもたらすことができる体系的な地域の変革に焦点を当てます。地域レベルのアドボカシーには、組織的な活動やパートナーシップを含むことが多いとされます。例えば、地域レベルのアドボカシーに携わる小児科医は、こどもの健康と well-being を向上させるために、他のこども支援者や地域のリーダーと協力する必要があります。そのような活動には、予防接種クリニックの開催、学校でのランチプログラムの改善、こどもとその家族への自転車用ヘルメットの提供などが含まれます。地域レベルのアドボカシーには、一般に次のような要素が含まれます：

- 一人のこどもから地域社会のすべてのこどもへと焦点を広げる
- 家族や地域のパートナーと協働する
- こどもの健康にとって、地域社会は常に重要であることを認識する
- 地域の健康体制の中で最適なヘルスケアを提供するために、臨床の実践を公衆衛生や予防の取り組みと融合させる
- 全てのこどもたちが利用しやすいヘルスケアを提唱する

地域レベルのアドボカシーと州・連邦レベルのアドボカシーには共通点がありますが、地域レベルのアドボカシーは、連邦・州レベルよりも変化することを前提に行われることがよくあります。地域レベルでのアドボカシー活動は、地域社会に根差した取り組み、教育委員会の代表、市や郡政府を含むプロセスに関連することがあります。地域レベルのアドボカシーには様々な場があるため、自分の関心に最も適した方法で参加することができます。

Ⅱ．州と連邦レベルのアドボカシーの基本　～実現方法を探る

州・連邦レベルでのアドボカシーは、こどもの健康に関わる公共政策に影響を与えることに主眼を置いています。これらの政策は、法律、規制、法的措置の形をとり、州レベルと連邦レベルの両方で行われることがあります。それぞれの意思決定機関は、州であれ連邦であれ、3 つの独立した構成要素を持っています。つまり、立法府が法律を作り、行政府が法律を実行し、司法府が法律を解釈します。この章では、立法と司法のプロセスについて簡単に説明します。

州議会議員の概要

州議会議員（7,300 人以上）は、国の日々の統治においてますます積極的に関与するようになっています。実際、州議会は、議会が制定する連邦法案 1 つに対して平均 80 本の州法案を可決しています。州議会は州税を通じて莫大な歳入を確保し、複雑な公的課題に対処するための革新的な解決策を打ち出す責任があります。アドボケイトとして、アメリカ政府におけるこの強力な力を認識することは重要です。以下は、州議会について覚えておくべきいくつかの点です。

- 各州はそれぞれ異なる法律制定プロセスで運営されていますが、各州には多くの共通点が存在します。
- 49 の州には、二院制の議会があります。 一般に上院は Senate として知られており、より少ないメンバーで構成されています。下院は、House of Representatives, Assembly として知られています。ネブラスカ州は唯一の例外で、一院制です。
- 議会は州ごとに、また年ごとに異なります。州議会が 30 日という短い期間で終わることもあれば、2 年間という長いものもあり、偶数年や奇数年にしか開催されないものもあります。
- 州知事は州の最高執行責任者であり、州政府の運営の責任を持っています。知事の権限には、臨時議会の召集、議会で可決された法案の承認または拒否権、年間予算の提出、および州機関の行政機能の監督などがあります。

連邦議員の概要

連邦政府は、連邦法を成立させ、州のプログラムに資金を割り当てる責任を負っています。連邦レベルのアドボカシーに関わることを考える上で、留意すべき点は以下の通りです。

- アメリカ合衆国議会は、上院と下院からなる二院制議会です。各院はそれぞれ独自の指導者、独自の委員会構成、独自の規則があります。上院議員の任期は 6 年で、下院議員の任期は 2 年です。
- 各州には州を代表する上院議員 2 名がいます。各州の下院議員の数は、州の人口によって決まります。この数は、国勢調査が行われる 10 年ごとに正式に変更されます。下院の定員は 435 人なので、国内で人口が変動すれば複数の州で下院議員の数が変更になります。

- 各議会は 2 会期開催され、一会期はそれぞれ一年間です。新しい議会は奇数年の 1 月から始まります。国政選挙は、議会の第 2 会期の 11 月に行われます。
- 行政府は、大統領と連邦政府の各省で構成されています。連邦政府の各省のトップは、大統領の内閣のメンバーである秘書官です。官房長官は、その省の最高総務責任者を務めるだけでなく、その省に関連する政策について大統領のアドバイザーでもあります。

州および連邦の法律制定プロセスの概要

州レベル、連邦レベルのどちらで公共政策の変更に取り組む場合でも、法律制定プロセスは以下のような一般的な枠組みで行われます。

- 法案が、立法府である上院下院どちらかに提出されます。その後、法案は委員会に送られ、そこで検討されます。委員会は情報を収集し、多くの場合、(その法案に関連した) 擁護団体、有権者、ロビイストからの証言を聴聞します。委員会の公聴会は、小児科医として、支部や AAP とともに、法案に対して口頭または書面で証言を提出する絶好の機会です。
- 委員会の手を離れる前に、通常、法案が改訂され、その後に委員会内で投票が行われます。可決された場合、法案は公開討議と投票のために本会議に送られます。上院、下院どちらかを通過した法案は、もう一方の議院にも提出されます。両議院を通過した場合、法案は両院協議会に送られます。両院協議会は、下院と上院で可決した法案の差異を調整するため、両議院のメンバーから構成されています。
- 両院協議会が、法案の差異を調整すると、法案は再投票のために各院に差し戻され再度投票が行われます。法案が再び両院を通過してはじめて、行政機関によって署名されて法律になります。最高執行責任者（州レベルでは州知事、または連邦レベルでは大統領）は、法案全体に署名し法律化するか、法案全体を拒否するか、どちらかを選択します。多くの州では、知事は法案に署名しつつも、特定の条項に対して拒否権を発動することも可能です（項目別拒否権）。法案が拒否された場合、拒否権を無効にするには、両院の 3 分の 2 以上の賛成で法案を再可決する必要があります。

法的なアドボカシー

裁判所は歴史的に公共政策において積極的な役割を担ってきました。裁判所に提出される法的措置の多くは、人身事故、医療責任、離婚、こどもの親権など、個人の生活に深く影響する問題に基づいています。

このような決定は、事件が審理される個々の市民の生活だけでなく、他の州にも影響を及ぼします。全国の裁判所は、同様の法廷闘争や司法上の課題に直面する可能性があり、他州の司法動向に注目する可能性が高いからです。

法的アドボカシーは、立法府、州機関、または州当局と連携する場合のような、直接的な橋渡しとは異なります。いくつかの（AAP）支部は、支払いやアクセスに関してメディケイド機関を相手に訴訟を起こしています。これは一つの選択肢に過ぎませんが、あなたやあなたの支部が司法制度の中でアドボケイトできる方法は、他にもたくさんあります。

- 小児科医は、司法制度において、児童虐待や傷害など小児科的な問題に関する専門家証人として、要請があれば、こどもの擁護者として活動することができます。
- AAP および各支部は、控訴裁判所で審理されるメディケイドの支払い率などの事件や問題について、「アミカス・キュリエ amicus curiae（法廷の友人）」または「法廷助言人」の法廷摘要書を提出し説明することができます。このような活動を行うには、法律顧問のサービスと支部側の多少の費用が必要となります。
- また支部は、こどものアドボカシー団体または州医師会の法廷摘要書に「アミカス」または「助言人」として参加することもできます。こうすることで、弁護士の費用を分担できると同時に、（アドボケイトとしての）目的を達成できる優れた方法です。
- AAP 支部は、州裁判官協会や州弁護士協会と支部の間の連絡係を設置することができます。この提携により、児童虐待、養子縁組、里親、およびその他の少年司法問題の分野における支部のアドボカシー活動を強化することができます。

Ⅲ．AAP 組織内でのアドボカシー ～変革のパートナー

AAP には、地域、州、連邦の各レベルでのアドボカシー活動に利用できる既存の仕組みがあります。以下は、アドボカシーに関連する AAP プログラムの概要とそれらがあなたに提供できるリソースについてまとめています。また、所属する AAP 支部や全国の AAP 委員会、部会、協議会を通じて直接サポートをうけることもできます。

地域、支部、および州の部門

地域、支部および州の部門は、支部、地区、小児科医、および小児科専攻医を支援し、地域および州レベルでのアドボカシー活動に関連する相談、トレーニング、およびリソースを提供しています。この部門は以下の 3 つの部門から構成されています。地域社会への取り組み、支部・地区との連携、州政府との連携の 3 部門です。

地域社会への取り組み

地域密着型活動部門は、こどもとその家族の医療へのアクセスと質を向上させる地域密着型プログラムに携わる小児科医と小児科専攻医を支援します。情報、ツール、サポートを提供することで、小児科医が地域社会のこどもたちのために変化を起こす能力を高めることに取り組んでいます。

支部・地区との連携

支部・地区関係部門では、66 の AAP 支部に技術的支援および管理サービスを提供しています。この部門は、AAP 全国事務所と AAP の各支部および地区会との間の主要な連絡役として機能しています。この部門は組織やガバナンスに関する多くの問題について、AAP の各支部に技術的支援を提供しています。

州政府との連携

州政府担当部門は、州の立法および法規制に関するコンサルテーションを提供しています。加えて、州および地方自治体が検討している児童・思春期の健康や、小児科診療戦略などの対応について支部や AAP 会員を支援しています。小児医療に関連する州の政策をモニタリングし、州のアドボカシー課題の分析と戦略的指導を行い、他の州や支部のアドボカシーの経験に関する情報を提供します。また、経験豊富な支部の立法アドボカシー担当者を対象に、2 年に 1 度、支部アドボカシーサミットも開催しています。

連邦政府事務局

連邦政府事務局は、ワシントン DC における連邦政府の立法活動に関する AAP の部門です。連邦事務局は、小児科医が議会や連邦政府機関と効果的な主張をするために必要な情報、トレーニング、ツールを提供します。これには、議員に連絡する際の手引き、手紙のサンプルや後日目を通してもらうために置いていく「置き土産」また、ミーティングを取り付けるためのヒントが含まれています。AAP はまた、年 1 回の立法会議と、ワシントン DC でのアドボカシー・デイを定期的に開催し、AAP 会員のトレーニングを支援しています。

FAQ よくある質問とその答え

効果的なアドボケイトになるには、法規制や法律の専門家である必要があるという印象を持ってきたのですが、それは本当でしょうか？

いいえ。こどもや自分の職業のための効果的な擁護者になるためには、これらのプロセスの内と外、すべてを知っている必要はありません。効果的な擁護者は、アドボカシーのプロセスの基本的なことを知る必要があります。この基本的な知識は、いつ、どのように決定されるのかを知ることに役立ちます。この情報は、こどもの健康と well-being に影響を与えるような地域社会の規範や公共政策の変更についてどのように意見を述べ、貢献するのが最善かを知ることに役立ちます。

地域のリーダーや意思決定者は、あなたがそのプロセスの専門家であることを期待しているわけではないことを心に留めておくことが重要です。それは彼らの仕事です。あなたの役割は、専門知識を提供すること、そしてあなた自身の「ものがたり」やこどもたちとの関わりを共有することです。さらに、AAP 支部には、AAP 州政府担当部や連邦政府担当部とともに、立法や政策の専門家がおり、必要に応じて、法律制定プロセスの助言やサポートをすることが可能です。

継続的に活動することで、これらのプロセスをより理解し、さらなる影響力を発揮したり、同僚や支部、患者、家族と知識を共有したりする機会に恵まれることになるでしょう。

地域レベルか、州レベルか、連邦レベルか、どのレベルで活動するのが最適かは、どのように判断すれば良いですか？

アドボカシーに参加する方法は様々でどのレベルで活動したらよいかについて、正解も不正解もありません。最も重要なのは、あなたの関心がどこにあるのかです。例えば、こどもの肥満に関心がある場合、地域レベルではこの問題を推進する機会がたくさんありますが、州や連邦レベルではほとんどないと思うかもしれません。逆に、医療規制改革の推進に関心がある場合、この問題は地域レベルよりも州や連邦の法律で取り組む方が良いと思うかもしれません。

地域レベル、州レベル、連邦レベルのどのレベルで活動すべきかという判断に影響を与えるうる他の要因として、次のようなものがあります。

時間

あなたのスケジュールや都合によって、あるレベルのアドボカシーよりも、別のレベルのアドボカシーの方が、活動が容易な場合があります。全ての小児科医にとっていろいろと事情が異なる部分ですので、ご自身の状況に基づいて自由に決定してください。

機会

時には、さまざまなレベルのアドボカシーに参加する機会が生まれます。たとえば、あなたの州が、若者の受動喫煙を減らすために職場禁煙法の採用を検討していたとします。この問題に興味がある場合は、いきなり州レベルのアドボカシーに関与し、支部を代表してその取り組みを関わることになるかもしれません。

快適さ

あなたの興味や経験に応じて、地域社会の人と一緒に活動することが好ましいと思うかもしれませんし、州または連邦選出の議員と協力することが望ましいと思うかもしれません。どのようなレベルのアドボカシーに参加するにしても、患者や専門職のために変化をもたらすものであることを忘れないでください。

私が地元で行っているアドボカシー活動は、州議会や連邦議会で起きていることと関係がありますか？

はい。ほとんどのアドボカシー活動は、こどもたちの健康と well-being を優先させる運動づくりに貢献するものであり、関連性があります。地域レベルで活動する場合、あなたの活動を助けるまたは妨げる連邦や州の政策を特定し、またそれを人々に伝えることが重要です。たとえば、各州がメディケイドの申請プロセスを簡素化できたことで、多くの地域で医療へのアクセスと利用が劇的に増加しました。また、地域や地域レベルで発生するアドボカシーの課題の多くはふつふつと沸き立ち、州および連邦のアドボカシー課題にもなります。

州の立法過程と連邦の立法過程はどのような関係がありますか？

議会で可決される法律や連邦政府機関が規制する法律の多くは、州政府によって州レベルで管理されます。保健や社会サービスなど、こどもに影響を与える多くのプログラムは、このような形で実施されるのが一般的です。州は、柔軟にこれらのプログラムの実施することもありますし、連邦政府の法律や規制によって、州が州独自の実施を決定する余地が少なくなっている場合もあります。

しかし、州議会と連邦政府の関係は一方的なものではありません。近年では、州が、児童健康保険プログラム（SCHIP）やこどもの車内安全など、最終的に連邦政府によって採用された新しいプログラムの生みの親となることが多くなってきています。また、国レベルで開始するには、困難で費用がかかる革新的なプログラムでも、州で行えば柔軟に出来る場合がありますし、非常に特殊なニーズ、時には特定の州にのみ存在するニーズを満たすためにプログラムを開発し調整することができます。さらに、衛生安全法、伝染病予防法、予防接種と健康診断の義務化、保険会社の法規制、医療従事者の免許などほとんどの公衆衛生法は、連邦政府ではなく州の管轄下にあります。

ロビイストとはいったい何なのですか？アドボカシーを行うためには、ロビイストになったり、ロビイストと協働したりする必要がありますか？

ロビイストとは、意思決定機関において、自発的に、または報酬を得て、自分自身の利益または依頼者の利益のいずれかを代表する人のことをいいます。多くの AAP 支部や AAP 連邦政府事務局には、ロビイストとして登録されたスタッフがおり、AAP のアジェンダを推進するために働いています。あなたが関わっている問題やアドボカシーのレベルに応じて、ロビイストと仕事をすることもあればしないこともあります。

小児科医であるあなたは、州レベルで AAP 支部を代表して、あるいは AAP 支部と連携して、立法アドボカシーに従事することになるでしょう。これによって、あなたは「市民ロビイスト」となります。これは専門的な肩書きのように思えるかもしれませんが、本当の意味は、あなた、あなたの患者、そしてあなたの職業にとって重要な何かのために、意思決定者に接触しているということです。

小児科医のアドボカシーストーリー

先日の会議で私は当院の小児総合診療科のスタッフと話をし、州のこども健康保険プログラム（SCHIP）の再承認を支援するために、各々が州の下院・上院議員に連絡を取ろうと呼びかけました。私は、AAP Web サイトで入手可能な資料を元に、話し合いのポイントの短いリストを作成し、州の議会代表団の連絡先情報を皆に提供しました。また、病院の Web サイトのアドボカシーセクションを更新し、SCHIP の再認証を支援するためのツールキットを掲載し、同僚たちに最新情報や追加情報を確認してもらうようにしました。法案が両院を通過する際、私は「アドボカシーアラート」を電子メールで送信して、職場の仲間に最新の情報を提供し、法案を前進させるために必要な具体的なステップを知らせるようにしました。

複数の同僚が、ある人は電話やファックスで、ある人は電子メールで、それぞれの担当者に連絡を取ったと知らせてくれました。私がアラートを送った時にちょうど（州外に）出ていたある同僚は、「リンクを送ってくれてありがとう ... 電話番号のリンクをクリックするだけだったので上院議員にメッセージを残せたよ」と返信してくれました。

私たちの活動は大成功でした。 SCHIP の再承認は下院と上院の両方で可決され、我々の州の上院議員は両名ともに法案に賛成票を投じました。

マイケルデールウォーレン（Michael Dale Warren）医師
テネシー州ナッシュビル　ヴァンダービルト小児病院

アドボケイトになるということは、意思決定者に影響を与えるために議会に行かなければならないということですか？住まいも職場も、州都からもワシントン DC からも離れています。

そんなことはありません。実際、政治とアドボカシーに関しては、全ての仕事は地元で行われます。州議会や連邦議会に行かなくても効果的にアドボカシー活動を行うことができる方法を以下に挙げます。

地域レベルのアドボカシー

地域レベルのアドボカシーは地域社会にいながらにして、変化を生み出すことに関わる機会を提供します。地域のリーダーや他のこどもアドボケイトなど、地域の人々と協力することで、より広範な認識、教育、予防の取り組みやリソースを作り、こどもの健康問題に対処することができます。

家庭や職場でのアドボカシー活動

州または連邦レベルでの問題に取り組む場合においても、自宅や職場にいながら、アドボカシー活動に貢献できる方法はたくさんあります。例えば次のようなことです。

- 選挙で選ばれた意思決定者が自分の選挙区にいるときには、例えその時に特定の頼みごとがなかったとしても、こどもの健康に関するリソースとして自分を使ってもらうために会ってもらえるよう招待します。
- あなたの患者の保護者や、一緒に働いている他の医療従事者に声をかけ、より多くの人々を活動に引き込みます。
- 仕事の始まりや終わりの数分を使って、あなたにとって重要な問題について役人らに電話します。
- 新聞編集者に手紙を書きます。意思決定者は常に地元の新聞を読み、特に社説面に注意を払っているものです。
- 選出議員が主催する、または出席するタウンミーティングに参加します。これらの会合で、こどもの健康や小児科の診療の問題に関連する質問をしたり、公の場で発言したりする。

小児科医としてロビー活動に関わることは合法ですか？

ほとんどの場合、合法です。自分自身または患者の利益を代表し、自由意志の下で、特定の公共政策を支持または反対する場合、ロビー活動から制限されることはありません。ただし、雇用の関係で制限がある場合もあります（たとえば、公務員の場合など）。もし、あなたの病院や大学が州の機関である場合、法務部門にロビー活動のガイドラインを確認してください。また、所属する支部や AAP を代表している場合は、そのロビー活動が内国歳入庁および各州のガイドラインの範疇で行われていることを確認する必要があります。AAP を代表して発言するときは、スポークスパーソンに関する AAP ガイドラインにも従う必要があります。非課税のために支部に課せられた制限については、支部に確認することでより詳しい情報を得られます。

AAP 第4章

アドボカシーの中核となるスキル

*患者さんの生活と、あなたのケアや治療を提供する能力の両方に影響を与える課題は数多くあります。この章の目的は、あなたが関心を持ち、地域社会、州、または連邦政府へのアドボカシー活動を通じてより体系的な変化をもたらすために**行動したいと思う課題を特定することです。**また、この章では、これらの課題について誰が意思決定をしているのか、また、意思決定者を説得して行動を起こさせるにはどうしたらよいのかを見極めることを目的としています。*

Ⅰ. 自分の関心のある課題を特定する ～解決が必要な課題

患者さんの社会的、身体的、精神的な健康に影響を与える課題は数多くあります。さらに、小児科医という職業や、あなたの仕事の能力に影響を与えるような課題もあります。いくつかの例を挙げます：

- 全地形対応車（オールテレインビークル：ATV）によるこどもの怪我
- 公害や環境汚染の増加による若年層の喘息罹患率の上昇
- 医療賠償責任に伴うリスク管理

このような個々の課題は、より広範な課題の一部である事が多いのです。こどもたちや小児科医が直面している広範な課題の多くは、地域社会の規範を変えたり、体系的な政策を変更したりすることで、軽減したり解決したりすることができます。例えば：

- こどもとその家族に安全情報と自転車用ヘルメットを提供する、地域社会の意識向上キャンペーン
- 企業や工場からの大気汚染を減らすことを目的とした条例
- メディケイドの保険に加入している小児科医に、治療に対する適切な対価を支払うための医療保険制度改変

アドボカシー活動を始めるにあたり、自分の個人的な関心事や、自分の専門分野で目にする特徴的なエピソードを反映した課題を選ぶことが重要です。他の小児科医や米国小児科学会（AAP）がどのような課題に取り組んでいるかについて情報が欲しい場合は、AAP 支部や AAP の Division of Community-based Initiatives、Division of State Government Affairs、Department of Federal Affairs にお問い合わせください。

Ⅱ. 課題を前に進めるために目標を設定する ～目に見える変化に焦点をあてる

アドボカシー活動を行う際には、自分にとって意味のある課題で、現実的な解決策があるものを選ぶことが大切です。実際、アドボカシーの重要な要素は、コミュニティや公共政策に具体的な変化をもたらすことにあります。あなたのような小児科医がアドボカシーに参加するのは、こどもの健康政策の改善に取り組みたいからです。公共政策の変革は、明確な目標を定め、設定することから生まれます。アドボカシー活動の目標を決める際には、以下の点を考慮してください：

目標を明確にする

何はともあれ、目標は達成可能なものでなければなりません。取り組む目標の数を 2 つか 3 つに絞ることを検討してください。そうすれば、限られたことに集中できますし、自分の力を十分発揮できるでしょう。

漸進的に考える

長期的な目標は大胆でアグレッシブなものかもしれませんが、途中で進捗を確認できるような短期的な目標やベンチマークを必ず設けるようにしましょう。例えば、長期的な目標が「すべてのこどもが 21 歳まで健康保険に加入できるようにする」であれば、短期的な目標の例として、「この法案を提出する」ことが考えられます。

広く考える

勝利をどのようにして実現するのか、広く考えてみましょう。「勝利」の定義は一つではなく、目標もそれを反映したものでなければなりません。場合によっては、勝利は、特定の法案を可決させることであるかもしれません。また、より多くの人をあなたの課題に参加してもらうことや、その課題を訴える手紙を編集者に出すこと、地域のリーダーや活動団体にあなたの取り組みを賛同してもらうことを「勝利」と定義することもあります。こどもたちの健康と well-being のためにアドボカシー活動を行う場合、アドボカシー活動の過程で多くの勝利を得ることができます。

Ⅲ . 誰が決めるのか ～意思決定者を見つける

あなたが関心を持っている課題には、その結果に影響を与えることができる 1 人以上の意思決定者がいます。課題にもよりますが、以下のような意思決定者が挙げられます：

- 地方自治体、州、連邦レベルの議員を含む、選挙で選ばれたもしくは任命された公務員
- 世論形成に影響力のある地域社会の有力者、宗教指導者、企業経営者
- 病院や学校など利用者や地域住民にサービスを提供する機関の最高経営責任者や管理者

効果的なアドボカシー活動には、このような意思決定者を特定し、説得して自分の課題のために行動してもらうことが含まれます。選挙で選ばれた議員や地域社会のリーダーと協力する際には、彼らのモチベーションを理解することが重要です。

選挙で選ばれたもしくは任命された公務員

議員のように選挙で選ばれた公務員は、その職を維持するために有権者の支持（投票）が大切です。そのため、選挙で選ばれた議員は、有権者が何を考え、何を大切にしているかに大きな影響を受けます。

地域のリーダー

地域のリーダーには、地域に対して影響力を持つ人や地域機関の管理者などが含まれます。彼らは通常、選挙で選ばれることはありませんが、地域の中での地位や影響力の範囲は、彼らが信頼できる、好かれている、あるいは公正であるとみなされるかどうかにかかっています。彼らは地域住民がどう考えているかを気にかけているので、世論に影響は受けますが、議員ほど直接的でないことがあります。

Ⅳ. 意思決定者に影響を与える方法 ～自分の主張を伝える

意思決定者は、個人的な接触や連絡によって影響を受けます。これには、訪問や会議、公開証言、手紙、電話、電子メール、請願書、集会、はがきキャンペーンなどが含まれます。意思決定者と接触する方法を選ぶ際には、より個別的なコミュニケーションができればできるほどよいということを念頭に置いてください。例えば、署名入りの請願書よりも、手書きの手紙の方が意思決定者にとって意味があり、影響力があります。意思決定者に連絡する場合以下の方法を行うとよいでしょう。

コミュニケーションをパーソナルなものに

あなたの「ものがたり」を伝え、あなたの課題の顔が見えるようにしましょう。意思決定者に、あなたの課題が彼らの有権者や地域住民に直接どのような影響を与えるかを伝えましょう。

具体的な要望を入れる

意思決定者に対する具体的な要望を盛り込むことが重要です。リーダーシップをとること、投票すること、その他の支援など、あなたの問題を支援するために彼らができることを明確にしましょう。

コミュニケーションをとり続ける

意思決定者に継続的に、あるいは繰り返し連絡を取ることを恐れないでください。あなたの声を聞けば聞くほど、あなたの問題（ひいてはあなた）を知り、行動を起こす気になるでしょう。

Ⅴ. 意思決定者と交渉する ～ギブ アンド テイク

あなたが変えようとしている課題のために、交渉が必要になることもあるでしょう。交渉は、アドボカシー活動においては当たり前の営みであり、見解の相違を解決する意欲と能力と表現することができます。

これは、競合する利害の間のギブ・アンド・テイクを伴います。選挙で選ばれたもしくは任命された意思決定者、地域のリーダー、対立するアドボカシー団体などと協力し合うことは、アドボカシー活動を成功させるための一部です。

連邦レベルでの交渉は、AAP の指導者やロビイストによって行われることが多いです。州レベルでは、AAP の支部長、事務局長、ロビイストがこの活動を主導することが一般的です。しかし、あなた自身が小児科医として交渉に参加することもあるでしょう。例えば、地域のリーダーや意思決定者と地域レベルのアドボカシーで協働する場合などです。この種の交渉は、皆さんが想像するほど難しいものではありません。実際、小児科医として、患者、マネージドケア企業、病院、診療グループなどと仕事をするとき、毎日のように交渉のスキルを使っています。地域社会のリーダーや地元選出の議員と交渉する際には、以下の要素 * を考慮してください：

人

課題から人を切り離します。選挙で選ばれた議員や地域のリーダーは、それぞれ異なる意見や優先順位を持っているため、同じようなデータでも認識が極端に異なることがあります。これは、強い感情を引き起こす可能性があります。関係者全員に敬意を持って接するようにしましょう。

関心

表明された立場に注目するのではなく、特定の立場の背景に具体的な利害を見極めるようにしましょう。意思決定者や地域のリーダーの個人的な利害の中で、何に同意するのが得策かを見極めましょう。

選択肢

地域のリーダーや意思決定者と協力して、さまざまな可能性やお互いに「Win-Win」となる選択肢を一緒に考えて行きましょう。

基準

交渉や妥協の成功の尺度や基準となる、客観的な基準を作ることを検討しましょう。

Ⅵ. 時間をかけて努力を継続する ～よい仕事を続けていく

意思決定者にあなたの課題について取り組んでもらうことは、一朝一夕にできることではありません。変化が起こるまでには、選挙で選ばれた議員や地域のリーダーと何度も接触する必要があるかもしれません。そのため、アドボカシー活動を継続するためには、途中で課題に対する自身の活動の進捗を認識し、それを称えることが重要です。努力を継続するために、以下の点を考慮してください *。

個人的な関係と同じように、地域のリーダーや議員との関係も構築には時間がかかります

忍耐強く意思決定者との交流を重ねることでより強固な関係を築き、最終的には自分が関心のある課題を改善するチャンスがあることを忘れないでください。

* Fisher R, Ury W, Patton B. Getting to Yes. New York, NY: Houghton Mifflin Company; 1991. より引用

熱心に取り組める課題を選ぶ

自分が取り組んでいる課題を自分自身に関連付けることで、継続して参加するモチベーションが得られます。

現実的な時間枠を設定し、マイルストーンを明確にする

一度の会期で立法プロセスが迅速に進むことはほとんどありません。重要なマイルストーンを設定することで、その進捗状況を把握することができます。マイルストーンには、超党派の共同提案者の獲得、公聴会の開催、議決（たとえ勝てなくても）、重要な地域社会のリーダーの支持などが含まれます。

頻繁に進捗を称える

意思決定者との交流のひとつひとつが、世界中のこどもたちと小児科医にとって意味のある変化を起こすための一歩だと考えてください。

自分の努力を評価する

何がうまくいっていて、何が計画通りにいっていないのか、自問自答する時間を持ちましょう。その過程で学んだことを取り入れ、必要に応じて目標を見直しましょう。

FAQ よくある質問

ある課題を取り上げ、その課題を中心としたコミュニティや公共政策の変化を生み出すにはどうしたらよいか説明していただけますか？

以下のステップは、あなたが仕事で経験した課題をこどもの健康と小児科医のための解決策に変えるために役立ちます：

自分や患者さんに最も深い影響を与える問題を見つける

あなたが関心を持っている課題や、あなたが最も情熱を持って変えたいと思っている課題を特定してください。

問題を他の問題と結びつける

エビデンスに基づいた調査を行い、課題解決のためにすでに行われていることと、まだ行われていないこと、必要とされていることを調べます。状況を理解し、より多くのこどもたちや小児科医に同じような課題が起こらないようにするための解決策を見つけてください。その解決策は、地域社会の取り組みの一部であっても公共政策の変更であってもよいでしょう。

目標を決める

自分たちの活動がうまくいっていることを確認する方法を明確にしましょう。（例：問題に関わる人の数が増える、地域のリーダーや議員の注目や支持を得たりするなど）

その問題について決定権を持つ人物を特定する

課題に関する意思決定をしているのは誰なのか、またその動機は何なのかを調べます。

意思決定者と関係構築する

継続的なコミュニケーションを図り、その課題に関して信頼できるリソースとしての地位を確立することで、公共政策や地域社会の規範を変えるために意思決定者を説得することができます。

協力者を募る

同僚、他のこどもの擁護者、家族、友人など、あなたの活動を支援してくれる人を見つけましょう。

プレッシャーをかける

意思決定者に何度も連絡を取り、プレッシャーをかけ続けましょう。これには意思決定者に会う、手紙を書く、電話や電子メールをするなどの方法があります。

小児科医のアドボカシーストーリー

私が州レベルのアドボカシー活動を始めたきっかけは、私の患者が自転車で転倒して頭蓋骨を骨折し、脳外科手術を受けたことでした。患者の母親が、なぜ幼いこどもにヘルメットの着用を義務付ける法律がないのかと質問したことをきっかけに、私たちはイリノイ州議会に法案を提出するためのキャンペーンを始めました。州法の制定には至りませんでしたが、イリノイ州のバリントンという町では、こどもに自転車用ヘルメットの着用を義務付ける市条例を州内で初めて制定しました。

マーク・ローゼンバーグ、MD, FAAP
チルドレンズ・ヘルスケア・アソシエイツ、イリノイ州シカゴ

その問題の専門家でなければ、その問題についてのアドボカシーを行うことはできないのですか？

いいえ、あなたがアドボカシーを行う問題の専門的な内容すべてについて専門家である必要はありません。必要なのは、その問題がどのように患者や専門家に影響するのか、そして、その解決策がどのように意味のある直接的な変化をもたらすことができるのかという、あなたの「ものがたり」の専門家であることだけです。AAP 支部は、あなたが手紙を書くにしても、意思決定者の委員会で証言する準備をするにしても、必要に応じて専門的なことをナビゲートしてくれるリソースとして機能します。

自分が本当に関心のある課題について AAP や支部に支援してもらうにはどうしたらいいですか？

自分の課題を AAP や支部から支持してもらうための最も良い最初のステップは、あなた自身が参加することです。支部の活動的な会員になり、支部の会合や行事に出席したり、支部の委員会に参加したり、あなたが関心を寄せる問題の先導者として活動することを検討してください。あなた自身がその問題をアドボケイトすることで、その問題の知名度が上がり、支部のアドボカシー・アジェンダに含めることへの支持を得ることができます。また、支部リーダーは、全国会議で他の支部のリーダーと交流したり、AAP 地区のリーダーと交流したりする中で、その問題を提起することができます。支部と協力して、AAP の年次リーダーシップフォーラムにこの問題に関する決議案を提出することを検討しましょう。このプロセスは、あなたの課題意識を迅速に全国レベルに引き上げるのに役立ちます。

小児科医のアドボカシーストーリー

AAP インディアナ支部では、秋に年次立法フォーラムを開催し、様々な議員をゲスト参加者としてお招きしています。午後 5:30-7:30 まで、ビュッフェ形式の夕食とプログラムを提供します。通常、5 人から 8 人の議員が招待され、約 45 人の支部会員が出席します。プログラムでは、議員達がプレゼンテーションをするのではなく、あくまで私たちのゲストとして参加してもらうことを目的としています。支部会員は、この時間を利用してこどもの健康にとって重要な 8 ～ 10 の最新の課題について、議員に説明します。支部の立法委員会のメンバーは、小児科の研修医とともに、1 つのトピックについて簡単なプレゼンテーションをボランティアで準備します。内容は、課題の説明、なぜその課題が重要なのか、議員への要望などです。これにより、会員と議員の間で良い議論が交わされます。

フォーラムへの招待者は、インディアナ州下院の公衆衛生委員会と上院の保健サービス委員会のメンバーのほか、健康やこどもの問題に関心のある議員など、会員が招待したい議員です。

キャロリン・ダウンニング
インディアナ州 AAP 支部、インディアナ州、インディアナポリス

AAP 支部を通じた支援にはどのような方法がありますか？

AAP の各支部は、それぞれ異なる組織構成になっていて、それぞれの州内で発生している固有の課題に基づいて、異なる政策イニシアチブに取り組んでいます。所属する支部が現在優先的に取り組んでいる立法措置について尋ね、こどもたちの健康と well-being を守るために、どのような形で支援できるかを尋ねてみましょう。さらに、多くの支部では、小児科医が参加できるさまざまなアドボカシー活動を実施しています。たとえば、「国会議事堂での年次アドボカシー・デイ」イベントや、立法に関するパネルディスカッションなどがあります。各支部の活動内容については、各支部に直接お問い合わせください。

小児科医のアドボカシーストーリー

私の診療所では、患者さんの 8 割が政府からの援助を受けており、彼らの多くは家族に基本的な生活必需品を提供するのに苦労しています。ある日の診療では、両親が離婚し、片方の親の家でしか歯ブラシを使えない少年と面談しました。もう片方の親は、彼に歯ブラシを買ってくれませんでした。

同じ頃、AAP テネシー州支部から、口腔保健助成金のアイデアを募集するメモが送られてきました。私はそのメモに、私のクリニックのすべての患者に、口腔衛生用品の入った携帯用のトートバッグかリュックサックを無料で提供してほしいと書き送りました。さらに、小児歯科医による無料の歯科検診も受けてもらいたいと思いました。患者さんの親御さんの多くは、こどもを定期的に歯科治療に連れて行くように言われていても、その余裕がありません。この取り組みは、経済的な障害を回避し、こどもの口腔衛生を確保する方法を提供するものです。

私たちは AAP から非常に寛大な助成金を得て、地方における歯科用品と口腔検診へのアクセスという問題を解決しようとしています。

患者さんが何を必要としているのか、私たち以上に知っている人はいないのです。暗黙の了解や明文化されていない考えは、私たちがサービスを提供するこどもたちの役には立ちません。

ジェシカ・ターバティ、MD, FAAP
テネシー州、ジョンソンシティ

地域社会のリーダーや議員と協力して、自分が関心のある課題を支持してもらうための秘訣は何ですか？

その秘訣は、「秘訣はない」ということです。効果的なアドボカシー、つまり地域のリーダーや議員に自分の課題を支持してもらうには、自分が気にかけている課題について自分の考えを意思決定者に伝えることです。個人的かつ継続的な関わりにより、意思決定者の注意を引くことができるだけでなく、最終的には意思決定者との関係を築くことができ、彼らが将来小児科診療の課題とともに、こどもたちの健康とwell-being を支持してくれる可能性が高まるのです。

地域のリーダーとの協働と、議員との協働には違いがありますか？

地域のリーダーと議員との最大の違いは、議員は、投票で公職に就くことができ、また投票で職を失うこともあるということです。そのため、議員は、有権者に対して直接責任を負い、有権者にとって重要な課題のために働こうという強い意欲があります。議員は、有権者を喜ばせることが、選挙の際の自分への投票につながることを知っています。

逆に、地域のリーダーの多くは、選挙で選ばれたわけではありません。地域のリーダーは、地域社会の構成員の well-being を気にかけているため、地域社会の課題のために働く意欲があります。そのため、地域のリーダーはより身近な存在となり、地域に影響を与える問題に関与する時間を持つことができるのです。また、地域のリーダーの中には、将来、議員に就きたいと考えている人もいることを念頭に置いておくことが重要です。あなたの地域の指導者がそうであれば、彼らはこの願望によっても動機づけられるでしょう。あなたが現在一緒に活動している地域のリーダーが、未来の議員になるかもしれないことを心に留めておいてください。

初めて地域のリーダーとコミュニケーションをとるとき、どのようなことに気をつければよいでしょうか？

多くの場合、地域のリーダーは、彼らが言わなければならないことと同じように、あなたが何を言わなければならないかを知ることに関心を持っています。コミュニケーションを取ることで、地域のリーダーは、あなたが地域社会の信頼できる有力なメンバーであることを認識することになります。彼らはほとんどの場合、あなたを仲間として見るようになるでしょう。以下のことに気をつけましょう：

自分の「ものがたり」を伝える

地域の指導者に、こどもたちの健康と well-being、そして特にあなたの課題が、あなたと地域社会の双方にとって重要な理由を伝えましょう。

地域のリーダーの関心事を知る

地域のリーダーの関心事や情熱を把握し、お互いが関心を持つ課題同士を結びつける方法を探します。例えば、地域のリーダーにこどもがいる場合、あなたの問題とこどもの健康や well-being を結びつける機会を探しましょう。地域のリーダーが経済成長に懸念を抱いている場合は、こどもや家族が安全で健康であれば、地域社会に経済的に貢献できる立場になることを強調しましょう。

支援を求める

あなたの問題のために、地域社会のリーダー がどのように役立つかを伝えましょう。地域リーダーから質問を受け、あなたが情報源として利用できることを伝えましょう。

他にもつながりを持つ方法を探す

地域のリーダーに、その問題について継続して連絡を取ることができるかどうか尋ねてみましょう。そうすれば、地域のリーダーは、この問題が地域内のこどもたちの健康と well-being を向上させるための継続的な取り組みの一部であることを認識してくれるでしょう。

議員の注意を引くには、どのような方法が最も効果的でしょうか？

議員は、有権者からの個人的な連絡や繰り返しの連絡に対応します。電子メール、手紙、電話、会議など、どのような方法で連絡を取るにせよ、以下のことを考慮しましょう：

あなたが有権者であることを伝える

自分が選挙区の有権者であり、その地域の小児科医であることを選挙区の議員に伝えましょう。そうすることで、議員の関心を素早く引き、時間を割いてあなたの話に耳を傾けてくれるでしょう。

自分事として語る

あなた自身の「ものがたり」を伝えることで、あなたの問題に人間味を持たせましょう。議員は、一般的な統計よりも、その問題が有権者にどのような影響を与えるかという個人的な話に注意を払います。あなたがなぜその問題に関心を持っているのか、なぜそれが有権者に影響を与えるのかを、議員に伝えましょう。統計データを使う場合は控えめにし、使用する場合は、可能な限り、自分の選挙区や地域のデータを使用しましょう。

具体的または直接的な「お願い」を盛り込む

課題の説明だけでは、議員を説得してあなたの課題に取り組んでもらうことは出来ません。議員は通常、コミュニケーション能力に長けており、具体的な行動を約束することなく、親身になって話を聞くことに慣れています。具体的な行動を起こしてもらう必要があるのです。

繰り返し連絡を取る

継続的にコミュニケーションをとることで、議員との関係を築くことができ、課題の重要性を再認識してもらうことができます。例えば、課題を直接見てもらうために、あなたの職場に議員を招待したり、課題に関連する記事を送ったりすることを検討してください。

州政府の議員と連邦政府の議員の違いを意識する必要がありますか？

地方議員、州議員、連邦議員のいずれと連絡を取る場合でも、同じルールが適用されます。連邦議員の郵便物のセキュリティ上の懸念が高まっているため、手紙はしばしば遅延し、連邦議員の机に届くまでに何週間もかかることがあります。ワシントン DC の連邦議員に手紙を直接郵送する替わりに、その議員の地元の事務所に手紙を郵送することを検討してください。あるいは、電話や電子メールで問い合わせることもできます。

議員と直接電話で話すことができません。どうしたらいいでしょうか？

小児科医と同じように、議員の多くは多忙なスケジュールを抱え、優先事項が競合しているため、個人的に連絡を取るのは難しい場合があります。時には、スタッフや補佐官にメッセージを残す必要があるかもしれません。スタッフは、議員にとって非常に影響力のあるメッセンジャーであることが多いです。有権者から何を聞いたのかを議員に伝えるのが彼らの仕事です。そのため、スタッフを介して連絡を取る際にも、議員に連絡を取る場合と同様の点に注意して下さい。

- あなたが有権者であり、小児科医であることを伝えましょう。
- なぜその問題に関心があるのか、それが有権者の健康と well-being にどのような違いをもたらすのか、あなた自身の「ものがたり」を伝えてください。
- その問題について、議員の支援が必要であることを伝えてください。
- 質問がある場合の連絡先を伝えてください。

議員は、本当に時間をかけて自分のメールを読んでくれているのでしょうか？

議員は、自分でメールを読むか、スタッフにメールを読ませ、自分に寄せられた要望や課題を集計しています。いずれにしても、意思決定者と電子メールで連絡を取る場合は、件名に自分が有権者であること、そして小児科医であることを明記してください。

議員と会うときに特に注意することはありますか？

議員との面会は、手紙や電子メールでは得られない交流の機会となります。面会では、議員をよりよく知ることができ、関係を新たに築くきっかけとなることがよくあります。議員との面会は、あなたの支部の Advocacy Day に議事堂で行ったり、議員が主催する立法会議やタウンホールミーティングへの出席や、個人的に取ったアポイントメントで行うこともできます。

議員は、この面会を自分自身について話す機会にしたいと考えるかもしれません。そのため、面会に備えて準備をしておき、会話の内容を面会の目的であるあなたの課題に戻すことが重要です。

面会の前

面談の準備として、あなたがその問題に関心を持つ理由や、彼らが代表する多くのこどもたちや家族を含む他の人々にどのような影響があるかなど、選出された役員に何を伝えるかを計画しておきましょう。選出された役員に直接質問することも忘れずに。あなたの問題を支援するために、あなたが何をしてほしいのかが正確に伝わるようにしましょう。

面会中

面会では対話の時間を設け、議員に質問をしてもらいましょう。もしあなたが答えを知らないような質問をされたとしても構いません。即答はできないが、詳細については後日連絡できる旨を伝えましょう。

面会の後

最後に、時間を割いてくれた議員に感謝します。今後も連絡を取ること、また質問がある場合の連絡先を伝えましょう。その後、必ず礼状を出すようにしましょう。礼状では、話し合った内容を再確認し、こどもの健康や小児科診療について継続的に相談に応じるという申し出を思い出してもらい、提供すると約束した資料があれば添付します。

自分の地域選出議員に連絡を取るのに最適な時期はいつですか？

議員に何をしてもらおうとしているかによって、連絡を取るのに最適なタイミングは異なります。例えば、自分が支持している特定の法案に賛成票を投じてもらいたい場合、連絡するのに最適なタイミングは、投票が予定されている直前です。

多くの人は、議会が開かれている時や何かを求めている時にしか、議員に連絡を取ることをしません。しかし、多くの議員は、議会が開かれていない時の方が時間があり、コミュニケーションを取りやすいのです。例えば、定期的な E メールや手紙、電話などを通じて連絡を取ったり、自分の職場に議員を招待したり、議員が主催するタウンホールミーティングやイベントに参加するなど、継続的に議員とコミュニケーションを取ることを考えてみましょう。

いつどのような方法で連絡を取るにしても、一般的にはこどもの健康と well-being のために、また特にあなたの問題のために、選出議員と関係を築くための幅広い努力の一環として行うことを忘れないでください。

自分の課題を代表して効果的に議会証言するには何が必要ですか？

議会証言には書面によるものと口頭によるものがあります。議会証言の目的は、議員達が知識に基づいて、投票したりある問題の賛否を決定したりするための情報を提供することです。議会証言を行うことで、小児科医は、こどもや小児科医に影響を与える未決の法律や規制案、その他の公共政策について、公に支持、反対、懸念を表明する機会を得ることができます。

AAP 連邦事務局は、連邦レベルでは AAP を代表して証言する小児科医を頼りにしていますが、州レベルでは、多くの小児科医が AAP 支部の要請を受け、AAP 支部を代表して証言しています。そのため、州レベルで証言する場合は所属支部と、連邦レベルで証言する場合は AAP 連邦事務局と協力して、証言が AAP の方針と一致していることを確認しながら準備を進めることが重要です。AAP は、問題に対するさらなる洞察や、証言に盛り込むべき提案やその他の解決策を提供してくれるかもしれません。州レベルの証言に関するその他の情報源は、AAP 会員センターの州政府関係エリア（Advocacy Archive）にあります。さまざまなトピックについて AAP 支部が作成した証言がアーカイブされており、他の支部が参考にすることができます。

議会証言の準備の際には、次の 3 つのポイントを考慮しましょう：

自己紹介と自分の立場を明確に述べる

書面でも口頭でも、議会証言を始める際には、自分自身の名前と、該当する場合は AAP 支部など自分が代表するグループの名前を述べます。あなたが議会証言しているのが議論されている議案に賛成なのか、反対なのかを明確に述べてください。

議案がこどもや小児科医にとってなぜ重要なのかを、例を挙げて説明する

議案が解決しようとしている課題を説明し、それが課題を軽減するのか悪化させるかについてコメントしてください。その法律、規制、公共政策によって、あなたの患者やあなたの仕事がどのように影響を受けるか、「ものがたり」を語ってください。あなたの仕事の例を用いて、要点を説明してください。証言の最後には、意思決定者に対し、保留中の提案に賛成票を投じるか、反対票を投じるよう要請してください。

質問には正直に答える

口頭で議会証言する場合、議員から質問を受けることがあります。これらの質問には、簡潔かつ正直に答えてください。質問の答えがわからない場合は、答えがわからない旨を伝え、AAP 支部や協力している他のグループの誰かに返答してもらう旨を伝えてください。

こどもたちの健康や小児医療は重要な課題です。なぜ私の地域の選出議員は私の課題について支援してくれないのでしょうか？

ほとんどの人がこどもの健康に賛成しており、多くの議員が支援したいと考えています。しかし、もしあなたの地域の選出議員が支持してくれないとしたら、それはその課題を代弁している人々の声を聞いていないか、あなたの課題と彼らが代表する人々との直接的な関係を理解していないからかもしれません。

議員を説得するためには、あなたの課題と彼らの有権者との間に個人的なつながりがあること、そして緊急性があることを示す準備をしましょう。切迫感を伝えることで、なぜ今支持が必要なのかを説明することができます。

さらに、議員にはあなたの課題に対する明確な回答や関与を必ず求めるようにしましょう。一般的にこどもたちの健康を支援していると言って済ませるのではなく、あなたの課題を具体的に支援することに同意してもらいましょう。

議員は、他に優先事項を抱えており、あなたの課題を十分に支援出来ないかもしれません。法案についてどのような懸念があるかを尋ねることは、議員の立場をよりよく理解し、どのように共通の認識を持つことができるかを知る上で、常に役に立ちます。

もし、議員が反応してくれなかったり、協力的でなかったりしても、あきらめないでください。あなたの課題の重要性について、議員を説得する努力を続けましょう。礼儀正しく、プロフェッショナルなコミュニケーションを心がける一方で、粘り強くなることを恐れてはいけません。有権者の声に耳を傾けることは、議員の仕事であることを忘れないでください。

議員が私の課題に対して反対していることを知っていても、議員と面会すべきですか？

もちろんです。継続的なコミュニケーションをとることで、あなたの課題が地域や州、あるいは全米のこどもや家族にどのような影響を与えるかを議員に理解してもらうことができます。

自分の課題を支持していない議員と仕事をするときは、その人と問題を切り離すことを忘れないでください。仕事の場でそうするのと同じように、議員に対してプロ意識と敬意をもって接しましょう。議員や地域のリーダーと協力して、彼らがなぜあなたの課題に反対しているのかを理解しましょう。彼らが支持したり同意したりできるような共通の基盤や解決策を模索しましょう。アドボカシー活動においては、永遠の友も永遠の敵もいないことを忘れないでください。議員は、今回はあなたの特定の課題を支持しないかもしれませんが、こどもの健康に影響を与える別の課題では支持者になるかもしれません。

地域、州、連邦の変革には、長い長い時間がかかるように感じられます。自分の努力が功を奏していることをどうやって知ることができますか？

アドボカシー活動は本質的には漸進的なものです。具体的な結果が出るまでには、しばらく時間がかかるかもしれません。大きな目標を達成するためには、途中で小さなステップに分けることを検討してください。このような一つ一つの小さなステップで成功を祝うことが重要です。例えば、議員との面会が実現したことは、自分の課題に向けて一歩前進したことを意味し、喜ぶべきことです。

進捗を測るもう一つの方法は、重要な議員と築いた関係の数です。短期的な支援は得られないかもしれませんが、時間の経過とともに転換点を迎え、より大きな変化を起こすための強力な支援を得ることができます。AAP ノースカロライナ支部は、この戦略に 30 年以上を費やし、その成果を上げ続けています。

AAP 第５章

私たちは一人じゃない – 参加の輪を広げる

*小児科医であるあなたは、こども達と自分の職業のために、信頼できる自然な擁護者です。しかし、説得力のある問題、力強い「ものがたり」、そして継続的なアドボカシー活動があっても、**より多くの人々が参加することで、公共政策プロセスにより良い影響を与える可能性が高くなります。**この章では、小児科医としての影響力を利用して、数の力を得て、こどもたちの健康と well-being のためのアドボカシー活動に他の人々を巻き込んでいく方法について説明します。また、すでに課題に取り組んでいる人たちとどのように協力し合えるかについても説明します。*

Ⅰ. 数で力をつける ～あなたの力が倍増します

こどもの健康などの問題について、あなたが“正しい”側にいるから成功するだろうと簡単に思いがちです。しかし残念ながら、それだけでは勝利は得られません。効果的なアドボカシー活動は、小児科医が自分たちの「ものがたり」を語り、選挙で選ばれた議員や地域のリーダーとコミュニケーションをとることから始まります。より多くの人が参加することで、小児科医一人一人のアドボカシー活動の力は倍増します。数の力を得ることで地域のリーダーや議員・首長に対し、その問題に関心がある人が大勢いること、そしてその人たちが変化を起こすために行動していることを示すことができます。活動を積極的に支援する人が多ければ多いほど、アドボカシー活動の成果はより早く、より大きくなります。

数の力を高めるためには、だれに声をかけるべきか、だれと一緒に行動すべきかを見極めることが必要であり、同時に、自分の立場とは反対で、考えを変えるのが難しそうな人たちを説得するための無駄な労力を費やすことを避ける必要があります。こどもたちの健康と well-being のような重要な課題に取り組むとき、他の人たちがなぜその問題を支持しないのか、ましてや反対するのかを想像するのは難しいかもしれません。しかし、あなたの問題はほとんどの場合、資源や資金をめぐって他のグループと競合していたり、異なった視点を反映していたりしています。数で力をつけることは、意思決定者に対して対立する利害関係者よりも自分たちのこどもの健康と well-being に関する主張が優先事項であることを示すのに役立ちます。

数の力を得るにはより多くの人を巻き込むことと、より多くの団体を巻き込むことの二つの方法があります。同じ考えを持つこれら 2 つのサポーターを探し出し、活動に参加してもらうことで、成功への力を得ることができるのです。

Ⅱ. より多くの人に参加してもらう ～見つけ出し、依頼する

参加者を増やすことは、問題に対する希望や熱量を生み出し、重要な変化をもたらすなどの様々なメリットがあります。より多くの人が、自分は一人ではないと思えば思うほど、時間をかけてでも自らの関心事をアドボケイトしたいと思うようになり、より広範な解決策が可能であると信じるようになります。加えて、さらに人が増えるということは、意思決定者に対して行動を起こすよう圧力を強めることを意味します。

自分の問題に人々をうまく巻き込むためには 2 つの技術が必要です。1 つ目はその問題に賛同してくれる人を見つけること、2 つ目はその人に依頼することです。簡単なことのように思えますが、これがうまくいかないことがよくあります。より多くの人に問題に取り組んでもらうために、以下の点を考慮してみてください。

参加してくれる人を見つけ出す

自分の問題に賛同してくれる人を集めるのに、多くの時間を費やす必要はありません。実際、ほんの数分もあれば職場を離れなくても、その問題を支持する人を集めることが可能です。以下のことについて考えてみてください。

- まず、あなたが既に知っていて、あなたの問題を支持してくれそうな人たちから始めましょう。知り合いの、こどもの健康と well-being に関心があり、日常的に交流している知人を思い浮かべることから始めましょう。患者の家族、他の小児科医や医療従事者、友人、家族、近所の人々などです。あなたの活動を支持しない人たちと議論したり、説得してみようとしたりすることに貴重な時間を費やすのではなく、支持してくれる人たちに働きかけることに集中しましょう。
- 力を掛け合わせてみる。力を掛け合わせるとは、あなたが知っている人たちを募り、その人たちがつながっている他の人たちをあなたの活動に参加してもらうことです。例えば、患者の親が、こどもの担任の先生に声をかけて、その先生を巻き込むことなどです。

参加者を募る

当たり前のことですが、参加しない一番の理由は「声をかけられなかった」からです。誰かに参加を働きかける際は以下の点を考慮しましょう。

- あなたの課題を相手の利益と結び付けましょう。あなたが患者や自らの専門性に影響を与える課題だから関わろうと思うのと同様に、他の人たちも、自らの関心事に影響を与える課題には関わろうとする意欲を持つものです。何が原動力になっているかを話してみましょう。患者の親にとっては、自分たちの子の健康と well-being が動機となるでしょう。また、医療機関の管理者にとってはコスト削減かもしれません。参加してもらいたい人たちの動機を把握し、彼らの関心事とその課題との間に関連性を持たせましょう。
- なぜその課題が重要で、彼らの助けが必要なのかを伝えましょう。彼らの助けによって何が達成できるのかを説明しましょう。人はかける時間と労力が重要な変化をもたらすと感じれば、その問題に参加しやすくなります。
- 具体的な依頼をすることが大切です。その課題に参加してもらうように誰かに話をする前に、その人がどのように役に立つかを考えてみてください。協力を求めるときには、何をしてほしいか、例えば「この課題に賛成票を投じるよう、議員に電話でお願いしてもらえますか？」など具体的にお願いしましょう。
- 拘束時間を明確にしましょう。非常に大きな仕事を引き受けることになるとか、長時間拘束されるとかと思うと、参加にためらう人もいます。例えば、意思決定者に手紙を書くのに 30 分、公聴会や集会に参加するのに 2 時間など、必要時間を明確に説明しましょう。

Ⅲ．より多くの組織に参加してもらう ～パートナーシップ、連盟、連合

問題解決に個々の力を集結できるのと同様に、組織や機関もその問題に対して幅広い支持を示すことができます。具体的には、パートナーシップ、連盟、連合などを活用することで、問題が目に見える形で幅広く支持されていることを認識させ、意思決定者の関心をより一層引きつけることができます。以下の点を考慮することで、問題を支援するために効果的なパートナーシップ、連盟、連合を作ることができます。

共通の問題に取り組んでいる団体を選ぶ

活動の幅を広げようとするときには、まず、自らと同じ関心や目標を持つ組織とつながりましょう。個人レベルと同様に、組織も、彼ら自身や、メンバー、彼らが尽力する人にとって最も直接的に影響がある課題を支援するために時間や資源を使う可能性が高くなります。優先事項が競合する団体や、あなたの考える課題や目標に反対しそうな組織には近づかないようにしましょう。

組織の経験や知識を尊重する

課題に取り組んでいるのが自分だけではないことを知ることは喜ばしいことです。そのためには自分が参加可能な既存の連合を探し出すのが一番の近道です。すでに行われているアドボカシー活動に、あなた独自の視点や経験、努力を加えることができます。

組織のプロセスを理解する

組織やグループは、それぞれ異なるスピードで動き、独特の意思決定プロセスを採用しています。一緒に活動している組織の独自の価値観、歴史、構造、使命などを学ぶようにしましょう。その結果、組織からどのような支援または反発が期待できるか、また組織がどのような要請なら応じてくれるのかがわかります。

課題とリソースのバランスをとる

パートナーシップ、連盟、連合での活動は、あなたの課題に新たなリソース、支援者、信頼性をもたらす可能性があります。しかし、一方で調整、コミュニケーション、意思決定プロセスなどの新たな課題を伴います。これらの選択肢を戦略的に検討し、長所が課題を上回る組織と関わるようにしましょう。

これまで関わってこなかった団体の存在を忘れないようにしよう

どの組織にアプローチするかを考える際には、既成概念にとらわれないようにしましょう。こどもたちの健康と well-being に投資することでコスト削減効果が可能であることを実証できれば、企業団体にとっても魅力的な課題になるでしょう。法執行機関や宗教団体も、それぞれの理由でその問題に関心を持つかもしれません。

Ⅳ． 対抗勢力を知る ～ 戦略と対抗戦略

戦略を練る際には反対勢力を見極めることが重要です。そのような組織や個人を「敵」とみなす人もいるかもしれませんが、実際は、反対派はあなたがその課題に関心があるのと同様に、相手もその課題に関心がある人たちで構成されています。ある課題に対する感情的な思い入れは、共に強いことが多いものです。

反対勢力に対処するための最初のステップは、当然ながら、相手が誰なのかを見極めることです。それが出来たら、なぜ彼らがあなたの提案に反対しているかを見極めることができます。また、彼らと一緒に行動している他の個人や組織を特定するよう努めましょう。反対派をよく知ることで、彼らのキャンペーンの主要な要素を予測し、それに合わせて計画を立てることが可能になります。

反対勢力の主張を予測し、それに反論するためにできるだけ正確な回答を用意することで、彼らの敵意をそぐことに力を注ぎましょう。問題を混乱させるだけの個人攻撃や陰口は避けましょう。あり得ないと思うかも知れませんが、ある日突然、反対勢力の人たちと同じ立場になるかもしれません。そういったことを考慮して、味方か敵かといった「人」ではなく「問題」に焦点を当てることが望ましいです。

交渉のスキルは反対勢力に対処するときも有効です。自分たちのつながりを強化するために言い寄っている団体や個人があるかもしれません。このような人たちに会い、あなたの考えを採用するか、少なくとも、その問題に対して中立を保つように説得します。反対派の支援者になり得る団体が中立であれば、彼らが議会や一般市民に与える影響を弱めることになります。

常にできるわけではなく、ケースバイケースではありますが、立法活動に乗り出す際には、反対勢力との面談を検討してもよいかもしれません。反対派が歩み寄り、互いに合意できる解決策に向けて努力してくれることに驚くかもしれません。すべての歩み寄りが、問題解決のために正当な試みであるかどうかは確認してください。場合によっては、妥協案と見せかけて、あなたの提案を弱めようとしていることもあります。他方、彼らが断固とした姿勢で、あなたの提案を打ち砕くことをやめないことをしるかもしれません。その場合は、少なくとも、彼らの議論や戦術を学び、適切な対抗戦略を立てることができます。

一般的に、反対勢力には積極的にロビー活動を行う利益団体以外にも多くの人が含まれます。明らかにあなたの提案に反対する議員やその他の州政府関係者もいるでしょう。主要な立法機関のリーダーがあなたの法案に反対している場合、その法案の必要性について、彼らがより理解できるように支援します。時に反対意見は、あなたの考えに関する知識のなさや誤解から生じている場合があります。あなたの法案に反対する議員や他の州政府関係者と話すときには、交渉術を駆使しましょう。特定の議員があなたの提案を支持しない場合は、他のロビー活動からの反対に対処する場合と同様に、その法案について中立を保つように要請しましょう。

他の立法活動と同じように、個人的な経験、政治的な知識、常識を組み合わせ、あなたの州の政治的現状を評価する必要があります。仮に、知事や議会主流派があなたの法案に絶対的反対を表明している場合、戦略を再考する必要があるかもしれません。しかし、知事や一部の議員は反対していても、世間の支持は得ているという状況に直面することもあるでしょう。このような場合、国民感情が州の意思決定者に、立場を変えるように促すかもしれません。提案や懸念事項を支部の立法委員会に直接伝えることで、広範な戦略策定プロセスに参加するように支部会員に奨励することができます。彼らは法案作成の最前線にいるため、反対勢力について知っている可能性が高く、あなたの提案が直面している政治的現状について、正確な評価を下すことができるでしょう。

反対勢力の力を過小評価しないことは重要ですが、皆さんはこどもたちの日常生活や小児科診療に影響がある課題の専門家である小児科医だということを忘れないでください。あなたの地域の AAP 支部は、反対勢力の規模や強さ、資金力に関係なく、こどもと小児科医のための強力な擁護勢力となることができます。

FAQ よくある質問

他の人に参加を促すと、無理強いさせているような気がします。本当にやってよいことなのでしょうか？

人に参加を求めることは、自然なことであり、許容されることです。多くの場合、人は何か意味のあることをしたり、変化をもたらす機会があったりすることを喜びます。また、よく組織された効果的な活動に参加することを喜びます。すべての人が”イエス”と言うわけではありませんが、彼らが関心を持っていることと課題をつなぎ、何をしてほしいかを明確にすれば、参加してくれる可能性が高まります。

小児科医のアドボカシーストーリー

私は、フィラデルフィアの職場を禁煙にする取り組みに積極的に参加しました。この重要な問題について発言するよう、医療会の内外で友人や同僚に頼みました。同僚やフェロー、スタッフには、市議会議員や市長に手紙を書いたり、レストランでお勘定をする際に、法案に賛成するカードを添えてもらったりするようお願いしました。アレルギー、呼吸器、一般小児の各分野の地元のリーダーたちにも声をかけ、この取り組みに参加してもらうようにしました。ほぼ全ての人が熱烈な支持を表明してくれました。私は、当院で毎週行われているグランドラウンズのアドボカシー・キャンペーンのための手紙の草稿を手伝ったのですが、これまでで最も多く署名された手紙のひとつとなりました。私の経験では、人々は協力したいと思っていますが、何をどのようにいえばいいのかを教えてもらうことを望んでいました。

エヴァン・フィールドストン医学博士
フィラデルフィア小児病院（ペンシルバニア州フィラデルフィア）

より多くの人に参加してもらうために、実際どれくらいの時間がかかりますか？

誰かに参加してもらうよう頼むのには、ほんの数分しかかかりません。実際に活動を始めてみると、毎日の小児科医としての仕事の中で、アドボカシー活動の参加を促せる機会が驚くほど多いことに気づかされるかもしれません。 例えば、普段接している患者の家族や、医療従事者がどれほどいるかを考えてみてください。ほんの一部の患者、家族、同僚に、その問題と、参加方法について話すだけで、あっという間に人々の力を高めることができるのです。

自分のアドボカシー活動に参加してもらうために、どのようなことに気を付ければよいですか？

アドボカシー活動に参加してもらおうと考えた時、まず数分間時間をかけて、その人があなたの問題を支援する理由、あるいは支援しない理由を明確にすることが重要です。仮にその人があなたの問題を支援する理由が、反対する理由を上回る場合は、その課題がなぜ重要なのかを説明しましょう。あなたの「ものがたり」や、解決しようと思っている理由を共有することで、その人にとって、その課題が現実的で意味あるものになるよう手助けをしましょう。相手にも自分の「ものがたり」を共有してもらい、相手が関心を持っていることとあなたの問題とのつながりを作ることも検討してください。

その人が参加することの重要性と、具体的に何をしてもらう必要があるのかを必ず伝えてください。例えば、彼らの参加によって何が達成できるか、どれくらいの時間が必要か、何をしてもらう必要があるのか、などです。人は、変化をもたらすための直接的で具体的な方法があることを理解すると、関わりを持つ可能性が高くなります。

必ず直接依頼し、回答する時間を相手に与えましょう。快諾が得られた場合にも、話を聞く時間を割いてくれたことに感謝を伝えましょう。機会があれば、その人に再度フォローアップをしましょう。継続的にコミュニケーションすることは、その課題の重要性と、助けが必要な理由を再認識させてくれます。

私の問題に関与してもらうために誰にアプローチすべきか、また誰にアプローチすべきでないかについて、もっと詳しく教えてください。

こどもの健康のような重要な問題について、なぜ他の個人やグループが反対するのか理解できないことがあるかもしれません。しかし、アドボカシー活動に関わっていると、反対に遭遇することは珍しくありません。重要なのは、あなたの問題に反対する人よりも支持する人の方が多い可能性が高いということです。潜在的な支援者や反対者を見極める際には、次のような質問を自問してみましょう

- 私が求めている変化から恩恵を受けるのは誰か？私が求めている変化によって、不都合を被る個人やグループはいるか？
- その個人やグループが私の問題に関わる動機となるのは、どのような信念か？彼らが私の問題に反対する動機となるのは何か？
- 私の問題は、その個人やグループの優先事項と一致しているか、それとも対立しているか？

あなたが求めている変化によって最も大きな影響を受ける個人やグループに注目してください。例えば、他の小児科医や医療従事者、あなたの患者の親、その他のこどもの支援者などです。意思決定者に尋ねてみてもよいかもしれません。特に、意思決定者と良好な関係にある場合は、あなたの問題について他にどのようなことを耳にしているか、また誰からそれを聞いているかを尋ねてみてください。そうすることで、あなたの味方となりそうな人や反対者となりそうな人に関する手がかりを得ることができます。成功を収めるために、必ずしも全員を説得する必要はありません。幅広い層から積極的な支持を得ていることを示すことができれば十分です。

どんなことを相手にお願いできますか？

アドボカシー活動への参加を募る際には、具体的なタスクを 1 つか 2 つに絞って依頼するようにしましょう。そうすることで、相手に負担をかけずに、依頼したことを引き受けてくれる可能性が高まり、最後までやり遂げてくれる可能性が高まります。アドボカシー活動に貢献できる簡単な方法には、以下のようなものがあります。

- あなたの問題についてや一般的にこどもの健康と well-being について、地域社会のリーダーや地方議員に連絡する（手紙を書く、電子メールを送る、電話をかける、面会するなど）。
- 他の人々に問題の重要性を話す
- 問題がなぜ重要なのか、また解決策がどのようにこどもの健康を改善できるかについて、編集者に手紙を書く
- 支部を代表して、問題やこどもの健康を支援するタウンホールミーティング、立法公聴会、候補者フォーラムに参加する
- 支援する候補者を選ぶ際に、こどもの健康について考慮する
- 問題の改善に取り組む地域グループやこどもの支援団体にボランティアとして参加する
- 支部の政府関連委員会やアドボカシープロジェクトに参加する

誰かを勧誘した後はどうすればよいですか？

誰かがあなたの問題への支援を約束したり、アドボカシー活動への参加に関心を示したりしたら、その人たちに最新情報を提供し、活動に関与し続けてもらうようにしましょう。最新情報を提供し続けることで、彼らの参加に感謝していることを伝えることができます。また、彼らが自分自身を何かの一部であると感じれば感じるほど、変化をもたらすための支援にさらに力を注ぐようになります。

協力者を巻き込んでおくために多くの時間を割く必要はありません。以下のような、手軽で簡単な方法で、人々を巻き込み続けることができます。

感謝の気持ちを伝える

関わってくれたことに対して、1 ～ 2 分時間を割いて感謝の気持ちを伝え、次にその人と会った時に、その関わりがどのような変化をもたらしているかを知らせましょう。

その人との問題に関する話し合いを継続する

仕事でもプライベートでも、その人と再会した時には、現在の状況を伝えましょう。彼らの行動の結果得られた、その課題の進展具合について共有しましょう

その人との関係を構築する

問題に対する共通の関心を、関係を広げる機会として活用しましょう。その人の「ものがたり」や動機を知り、その人にとっての問題がどのように自分に関連しているのかを理解しましょう。継続的な関係を築くことで、その人が特にあなたの問題、そしてこどもたちの健康全般により深く関わる可能性を高めることにつながります。

問題に関する情報を転送する

その人からメールアドレスを聞き、問題に関する最新情報を転送します。

あなたの問題に取り組んでいる他の人々とその人の名前を共有する

AAP 支部や他の支援団体と協力して問題に取り組んでいる場合は、その取り組みを調整している組織にその人の名前を共有することを許可してもらうよう依頼します。そうすれば、その人はニュースレターや郵送物を通じて問題に関連する連絡を受け取ることができ、また、解決策を支援するための追加の方法についても知ることができます。

再度依頼をする

問題の解決に向けて、必要に応じてその人に追加の作業に参加してもらうことをためらわないでください。その人が解決策に貢献できる機会が増えれば増えるほど、その問題により深く関わっていると感じられるようになります。その人に感謝の気持ちを伝え、依頼の合間にコミュニケーションを取り、依頼は具体的かつ現実的なものにしておくことを忘れないでください。

地元で協力できるグループや組織を見つけるにはどうすればよいですか？

一緒に活動可能な団体を探すことは、個人の場合とあまり変わりはありません。患者が所属している、または日常的に交流のある組織を探します。例えば、学校、保育所、宗教団体、少年更生施設、青少年スポーツチームなどです。勤務先や、あなたが所属しているその他の専門的または社交的なグループに参加を呼びかけることも検討してください。

また、活動するグループのさらなる情報が必要な場合は、AAP 支部に問い合わせて地域の他の児童擁護団体に関するアイデアや情報を入手することを検討してください。州政府局や連邦政府局も、パートナーになりうる候補を探す手伝いをしてくれるでしょう。彼らは、全米の児童擁護団体と協力しており、これらの支部は、素晴らしいパートナーとなる可能性があります。実際に、AAP メンバーセンターのウェブページには、こうしたグループの多くへのリンクが掲載されています。さらに、地元の新聞や市のウェブサイトにも、地域の児童擁護団体の情報が載っていることがあります。また、近隣のグループ、礼拝所、学校などが発行しているニュースレターも、アイデアを得るのに役に立つかもしれません。

小児科医のアドボカシーストーリー

モアハウス医学部とアトランタを拠点とするグラディ医療システムは提携を開始し、近隣の医療センターを設立しました。グラディ医療センター・サウス・デカルブは、保険に加入していないこどもたちに対する無料診療は行っていませんでしたが、生活保護を受けている患者は常に受け入れてきました。
私たちは、新学期の始まりに近づくと、保険やメディケイド、特別児童扶養医療制度（SCHIP）に加入していない、あるいは支払う余裕がないという理由で、サービスを求めてやって来る親たちが大勢いることに落胆していました。

そこで地元の保健局と協力をして、モアハウス、グレーディ・ヘルスセンター・サウス・デカルブが毎年「新学期健康フェア」を開催するようになりました。年に一度、私たちはセンターを開放し、地域住民を対象に無料の健康診断と予防接種を行っています。毎年、約 200 人のこどもたちに予防接種とスクリーニングを行っています。このイベントは年々規模が拡大し、現在では地域の歯科医やその他の医療専門家から寄付されたサービスを受けています。また、この恵まれない地域社会のこどもたちに学用品の支給も始めました。

スタッフや医師たちは、このイベントをとても楽しんでいます。地域社会の新しい家族と知り合うこともでき、また、イベントが終了した時には、こうした弱い立場にある家族を支援できたという素晴らしい達成感を得ることができます。

デビッド・A・レヴィン（David A. Levine）医師、FAAP、ジョージア州アトランタ、
モアハウス医科大学臨床小児科准教授、医師免許取得前教育課程主任

他の組織とパートナーシップを築くことを考える際に、どのような点を考慮すべきでしょうか？

地元の他のグループや組織とパートナーシップ、提携、連合を築く際には、主に 3 つの点を考慮する必要があります。

1. **共通の問題と相互の利益**
   アプローチする組織は、あなたの問題に直接影響を受け、その問題へのアプローチ方法に同意している組織を選びましょう。最も効果的なパートナーシップは、共通の問題をめぐって、変化をもたらすためにどのように協力し合うかについて合意が得られた場合に生まれます。貴方の問題に関心を持ち、直接影響を受けている組織は、貴方の取り組みに積極的に貢献してくれる可能性が高くなります。

2. **組織のリソースを考慮する**
   その組織があなたの取り組みに貢献できる潜在的なリソースを特定します。その組織には、行動を起こすために活用できる、活発で影響力のある、または広範な会員基盤がありますか？その組織には、あなたの取り組みに役立つ資金やスタッフのリソースがありますか？その組織には、重要な意思決定者とのつながりや影響力がありますか？その組織には、あなたの問題への支援を構築するために活用できる、ウェブサイト、ニュースレター、イベントなどのリソースがありますか？

3. 障害を検討する

組織が提供できる潜在的なリソースを特定したのと同様に、問題に影響を与える可能性のある障害についても検討します。組織が問題を支援するための内部プロセスを検討します。組織は、あなたの取り組みに役立つ時間枠内で、あなたの問題を支援することについて合意に達することができるでしょうか？組織は、あなたの取り組みに役立つでしょうか？名ばかりのパートナーシップを求めることは避けましょう。代わりに、あなたの問題の解決に向けて積極的に関与してくれるリソースを活用し、パートナーシップを構築することに焦点を当てましょう。

問題の解決に役立つ組織を見つけた場合、どのようにしてその組織に働きかけ、関与してもらうのでしょうか？

組織をアドボカシー活動に関与させるには、以下の 4 つのステップを考慮してください。

1. 組織内であなたが知っている人物を特定する

これは、理事会メンバー、従業員、顧客、または管理者である可能性があります。

2. 彼らに問題の重要性を共有する

問題に関連して何が起こっているか、変化を起こすために何が必要か、そして、彼らの組織がどのように役立つ可能性があるかについて、彼らに説明します。 彼らに質問する機会を与え、問題や組織について彼らの考えを共有してもらうようにします。

3. 支援を依頼する

その組織があなたの問題への支援を確約する前に、その組織が知っておくべきことや行うべきことを確認します。 あなたの問題についてより詳しい情報を提供したり、プレゼンテーションを行ったり、あなたの問題に関わる他の人物がその組織とフォローアップを行ったりするなど、支援を行う準備をしておきます。 この作業については、おそらくあなたの AAP 支部が支援してくれるでしょう。

4. 感謝の気持ちを伝える

問題への支援を承諾してもらえたかどうかに関わらず、敬意を表し、時間を割いてくれたことへのお礼を伝えましょう。すぐに承諾が得られなかったとしても、将来的なパートナーシップの可能性を残しておきましょう。

私は以前、連合と仕事をしたことがあり、そのプロセスに非常にフラストレーションを感じました。なぜまた同じことをしようとする必要があるのでしょうか？

パートナーシップ、アライアンス、連合で活動することには、デメリットもありますし、時には対立は避けられないものです。しかし、プラスの面がフラストレーションを上回ることもよくあります。パートナーシップ、アライアンス、連合は、以下のような点で役立ちます。

- 数の力で強固な基盤を築き、関与を広げることで、問題を前進させる。
- 意思決定者へのアクセスと影響力を高める。
- 問題に対する広範なコミュニティの支持を実証することで、信頼性を高める。
- エネルギー、興奮、そしてより大きなものへの帰属意識を生み出す。
- 才能とリソースを集結する。

対立を最小限に抑え、パートナーシップ、同盟、連合との協働プロセスをより楽しいものにするために、以下の点を考慮してください。

お互いの利益を理解し、尊重する

協力する各組織には、それぞれその問題を支援する理由があります。その理由は、病気や怪我の予防から医療費の節約まで多岐にわたります。テーブルにつく各グループの動機を知り、理解するよう努めましょう。初めにこの点を理解しておけば、後に誤解が生じるのを防ぐことができます。

明確な役割と意思決定プロセスを確立する

各組織が自らの役割と意思決定プロセスを明確に理解していることを確認してください。お互いに何を、いつまでに期待されているのかを理解することは、混乱を減らし、尊重し合う関係を築くのに役立ちます。すべての当事者間でオープンなコミュニケーションを維持することは、このプロセスを支援します。

同意できること、できないこと

最初から、グループ間に相違が生じることを認識しておきましょう。これは、どのグループも間違っているという意味ではなく、各グループが異なる理由で動機づけられているため、異なる考えややり方を持つことを認識しているに過ぎません。各グループの行動が全体的な目標に貢献しており、各グループが何を行い、その理由についてオープンなコミュニケーションが行われている限り、これは問題ありません。

小児科医は、パートナーシップ、提携、連合においてどのような役割を果たすことができるでしょうか？

1 か月に 1 時間未満でできるアドボカシー活動は数多くありますが、効果的なパートナーシップ、提携、連合の一員となることは、必ずしもこの範疇には入りません。パートナーシップ、同盟、連合への貢献には、関係を築き、共通の目標を確保することを基本とするため、追加の時間と調整が必要になる可能性が高いでしょう。これは、多くの時間を費やすことを意味するわけではありませんが、月に数時間から数日を要する可能性が高いでしょう。 結局のところ、効果的なパートナーシップとは、関与する人々の利用可能な時間、才能、リソースを共有することです。 1 人の人間がすべてを自分だけで行うことではありません。

小児科医のアドボカシーストーリー

私は AAP カンザス支部の立法コーディネーターを務めています。カンザス州は中規模支部に分類されていますが、我々はまだまだ小さな団体です。独自のロビイストを雇う余裕もありません。数年間に、我々は州のこども達にとって、有益な法案を成立させるためには、州内の他のこども支援団体と協力して州の支援を行うのが最善策であることに気づきました。

5 年もの間、さまざまな個人グループが 4 歳以上のこどもに車のブースターシートの使用を義務付ける法案の可決を目指しましたが、成果は得られませんでした。そこで私たちは、州支部を含むこども支援団体の強力な連合体を結成し、この法案の改正に取り組みました。この連合は、カンザス州こども支援活動（Kansas Action for Children）とセーフキッズ・カンザス（Safe Kids Kansas）が主導し、それぞれが州議会議事堂にロビイストを配置して法案を支援しました。反対派のリーダーは、下院交通委員会の委員長でした。連合は、この法案を交通委員会ではなく、司法委員会に提出させることに成功しました。連合の多くのメンバーが、私を含め、委員会で証言を行う代表者を派遣しました。また、連合グループは、法案に賛成票を投じるよう、議員に手紙を書いたり電話をかけたりするメンバーも募集しました。法案は可決され、知事の署名を得ました。

この法案は、各団体が協力し合わなければ通過しなかったでしょう。ロビイストがいなければ、法案は委員会で足止めされ、委員会から出ることもできなかったでしょう。各団体の証言がなければ、法案は委員会を通過できなかったかもしれません。連合のメンバーからの働きかけがなければ、議員たちはこの重要な法案を可決する票を投じなかったかもしれません。

デニス クーリー医師 , FAAP　AAP カンザス支部

AAP

第6章

メディア、コミュニケーション・アドボカシー

*問題の重要性を理解してもらう最善の方法は、**影響を受ける実際の人物の「ものがたり」を伝えることです。**メディアやコミュニケーションのアドボカシー活動を利用すれば、個人対個人の戦略だけでは不可能な、より幅広い層にあなたのストーリーを伝えることができます。この章では、メディアやコミュニケーションの手段を活用して「ものがたり」を伝え、変化をもたらす方法について説明します。このガイドに加えて、米国小児科学会（AAP）では、あなたや支部がさまざまなメディアやコミュニケーション活動を行う際に支援する専任スタッフとリソースを用意しています。*

Ⅰ. メディア、コミュニケーション・アドボカシーとは ～意識づけ

メディアおよびコミュニケーションによるアドボカシーとは、あらゆる種類のメディアやコミュニケーションの仕組みを意図的に利用して、あなたの問題に対する認識を高め、最終的には変化をもたらすことを指します。これには、ニュースレターの記事、編集者への手紙、インターネットのブログ、または地元のニュース番組への出演などが含まれます。効果的な支援は、より幅広い視聴者に対して問題の重要性を示す手段として、メディアやコミュニケーションの手段を活用します。メディアやコミュニケーションを活用したアドボカシーを広く考えることが重要であり、これらの用語はやや曖昧ですが、以下の定義を考慮してください。

メディア・アドボカシー

メディア・アドボカシーとは、新聞、雑誌、医療関連ウェブサイト、テレビ、ラジオなどのメディアを活用し、記者の協力を得て、より幅広い層に訴えかけることで、問題に対する認識を高め、場合によっては意思決定者からの注目を集めることを指します。アドボカシー活動においては、メディアは「獲得」することも「購入」することもできます。購入メディア（Paid Media）とは、その名の通り、購入したメディアを指します。インターネット、新聞、テレビなどで購入した広告スペースなどがこれに該当します。

獲得メディア

Earned media（獲得メディア）とは、関心のある問題のために作成するメディアを指します。これは、お金を払って得る広告ではなく、アドボカシー活動を通じてメディアから注目を得ることです。獲得メディアは、問題がなぜ重要なのか、また、地域社会や州、あるいは全国の実際のこどもや家族にどのような影響を与えるのかを示すことで、問題に対する注目と関心を喚起する優れた方法です。さらに、それは「本物」の人々から発信されるため、しばしば有料メディアよりも影響力があるとみなされます。獲得メディアには、編集者への手紙、社説、テレビやラジオのニュース番組のインタビュー、地元の新聞社説委員会に働きかけて、問題に関する肯定的な社説を掲載してもらうことなどが含まれます。

コミュニケーション・アドボカシー

コミュニケーション・アドボカシーとは、問題に対する認識を高めたり、他者を巻き込んだり、意思決定者に影響を与えたりするために使用される、メディア以外のあらゆる素材や仕組みを指す幅広い用語です。コミュニケーション・アドボカシーは、問題の重要性を積極的にアピールし、問題の進展や必要な行動について他者に知らせるのに役立ちます。コミュニケーションには、印刷物（ニュースレター、記事、チラシ、パンフレットなど）、インターネット（ウェブサイト、メーリングリスト、ブログ、ソーシャルネットワーキングサイト、E メールアラートなど）、または対面（例えば、講演、地元イベントでのブース出展、地元グループや組織へのプレゼンテーションなど）があります。

Ⅱ．なぜメディア、コミュニケーション・アドボカシーが重要なのか ～世論に影響を与える

アドボケイト（Advocate）として、メディアやコミュニケーションを活用したアドボカシー活動を行い、自分にとって重要な問題について世論に影響を与え、ひいては公共政策に影響を与えることができます。意思決定者は世論、特に有権者の世論に注目し、影響を受けます。メディアやコミュニケーションを活用したアドボカシー活動は、問題への注目を集め、人々の心に常に留めておくことができます。メディアやコミュニケーションによるアドボカシー活動により、より多くの人々にあなたの「ものがたり」を伝えることができ、より幅広い層にとってあなたの問題が現実味を帯び、意味のあるものとなります。これにより、あなたの問題への関心と注目が高まり、より多くの人々が関与し、意思決定者があなたの問題に賛同する行動を取るよう圧力をかけることで、地域社会、州、連邦レベルでの変化に直接貢献することができます。なぜなら、あなたの問題が人々の関心を集めているからです。

小児科医として、あなたが日常的に患者、同僚、友人、家族と交わす多くの会話が、あなた自身の認識にどのような影響を与えているかを考えてみてください。一般の人々の問題や課題に対する認識に影響を与える場合も、同じことが言えます。メディアやコミュニケーションは、人々の会話や議論を喚起し、地域社会の規範や人々の認識を変えることに貢献します。さらに、州や連邦レベルでの公共政策は、有権者がニュースで話題にしている内容に影響を受けることがよくあります。例えば、地元紙の投書欄や意見欄などです。メディアおよびコミュニケーションによるアドボカシー活動により、小児科医であるあなたは、地域社会や公共政策に関する議論を形成することができます。それは、あなたが関心を持っている問題について、あなた自身が代弁するからです。

具体的には、メディアおよびコミュニケーションによる支援活動は、以下のような方法で、あなたの問題を推進するのに役立ちます。

- 地域社会のリーダーや選出された公職者に、世間の注目が集まっていることを認識させ、あなたの問題のために行動を起こすよう説得する

- 問題について認識を深め、自分たちに何ができるかを理解することで、より多くの人々が関与する可能性を高める
- あなたの経験が多くの人々の経験であり、この問題は世間の注目に値することを示すことで、この問題に対する信頼性を確立する

Ⅲ. 効果的なメディア、コミュニケーション・アドボカシーの鍵：あなたのメッセージ ～問題のフレーム化

小児科医であれば、治療は患者とその家族が医師の助言を理解し、注意を払って初めて効果を発揮することをご存知でしょう。メディアやコミュニケーションにおいても同じことが言えます。これらのツールは、問題に対する認識を高めるのに非常に有効ですが、人々がメッセージを理解し、注意を払って初めて効果を発揮します。

メッセージは、問題がなぜ重要なのかという核心をなす主張であり、メディアやコミュニケーション活動のすべての基盤となるべきものです。効果的なメッセージは、問題が語られる方法に一貫性をもたらし、問題に関連する多くの「ものがたり」に共通するものです。本質的には、「なぜなら」に続くものがメッセージです。メッセージの例として、次のものを考えてみましょう。

> 「メディケイドは欠くことのできない医療制度です。なぜなら、2,600 万人以上の低所得のこどもたちに医療保険を提供しており、そうしなければ、そのこどもたちは重要な医療サービスを受けることができないからです。」
> ※ Medicaid と Children’s Health Insurance Program (CHIP)：一部の低所得者、家族とこども、妊婦、高齢者、障害者を含む何百万人ものアメリカ人に無料または低料金の医療保険を提供しています。一部の州では、メディケイド・プログラムを拡大し、一定の所得水準以下のすべての人を対象としています。
> https://www.medicaid.gov/
> https://www.healthcare.gov/medicaid-chip/

このメッセージは、メディケイドの資金調達の重要性を訴えるものです。保険に加入していないこどもたちと関わった個人的な経験や「ものがたり」は、このメッセージを裏付けるのに役立ちます。効果的なメッセージを作成するためのガイドとして、以下の点を考慮してください。

明確に

あなたのメッセージは、他のこどもの代弁者、一般市民、意思決定者など、他の人々にも理解され、繰り返し言えるような言葉で、簡単に理解できるものでなければなりません。親と話すときに使うような言葉遣いを使いましょう。小児科医として、あなたは患者とその家族のために専門用語をわかりやすく説明しています。メッセージを作成する際にも、同じルールを使いましょう。

簡潔に

メッセージは要点を突いたものでなければなりません。ほとんどの人は集中力が続かないことを念頭に置き、簡潔な形式で情報が提供されることを好むことを念頭に置いてください。メインメッセージと、簡単に覚えられる 2 ～ 3 の補足事項に焦点を絞ってください。言葉はすべて重要です。一つ一つを慎重に選びましょう。

記憶に残るように

最も効果的なメッセージは、人を惹きつけ、記憶に残るものです。友人や同僚にメッセージを読んでもらい、フィードバックをもらうことを検討したり、支部に協力を依頼したりすることもできます。説得力のあるメッセージは、人々に、あなたの問題は支援できるものであると納得させるものです。個人的な例や「ものがたり」を盛り込み、人々が共感できるようなイメージを描けるようにしましょう。

繰り返し、繰り返し、繰り返し

すべてのコミュニケーションには、意図的なメッセージを盛り込むべきです。 一般の人々がメッセージを記憶にとどめるには、6 回以上そのメッセージに触れることが必要です。

Ⅳ . メッセージを「ものがたり」につなげる　～なぜ変化が重要なのか

効果的なメッセージを持つことは、あらゆるコミュニケーションおよびメディア活動の基盤となります。メッセージの活用方法も重要です。メッセージを個人的な「ものがたり」や経験と組み合わせることで、人々の関心を引き、共感を呼び、問題に人間味を与えることで、メッセージの重要性を示すことができます。メッセージを「ものがたり」と結びつけ、人々の関心を引き、意思決定者に行動を起こさせるには、以下の方法が考えられます。

個人的な内容にする

小児科医としての個人的な経験は、非常に説得力があります。ご自身の「ものがたり」自体がメッセージや主張の中心となるわけではありませんが、個人的な例はメッセージを補完し、変化の必要性を直接的に示すことができます。

地域に密着したメッセージを

人々は、自分自身に直接影響するニュースやコミュニケーションにより注意を払います。あなたの問題が近隣、地域、市、州にどのような影響を与えるかという視点を含めて、メッセージを地域に密着したものにする方法を検討しましょう。

変えたい問題とメッセージを結びつける

人々があなたの「ものがたり」を多くの「ものがたり」のひとつとして理解できるようにしましょう。メッセージが解決策を強調していることを確認してください。あなたが求めている変化を明確に述べ、その変化がなぜあなたの地域社会や州、あるいは全国のこどもたちにとって重要なのかを説明してください。そうすることで、人々はあなたの問題に注目すべき理由、そしてなぜ変化が必要なのかを理解しやすくなります。

他者に参加を呼びかける

説得力のあるメッセージは、人々に行動を促します。メッセージを伝える際には、参加を呼びかけること、そして他者が変化をもたらすためにどのような支援ができるかに関する情報を盛り込んでください。

FAQ よくある質問

メディアを利用するか、その他のコミュニケーション手段を利用するか、どのように選択すればよいでしょうか？

メディアを利用すれば、最小限の時間で最大の聴衆メッセージを届けることができます。一方、ニュースレターやウェブサイトなどのコミュニケーションツールを利用すれば、特定の聴衆にメッセージを届けることができます。

メディアを利用するか、より広範囲なコミュニケーションツールを利用するかを選択する際には、最も重要な戦略的考慮事項は対象となる聴衆です。対象としたい聴衆を考慮し、その聴衆があなたの目標達成にどのように役立つかを検討してください。 例えば、あなたの目標が小児科医にあなたの取り組みへの参加を促すことである場合、医療専門誌、病院やクリニックのウェブサイト、支部のニュースレターなど、他の小児科医に届くコミュニケーションツールに焦点を当てるのが最善の策かもしれません。地元コミュニティの市民に問題への認識を高めてもらいたい場合は、一般市民にリーチするメディアツール、例えば、編集者への手紙、地元ニュースへの出演、プレスリリースなどを活用するのが賢明でしょう。

アドボカシー活動の過程で、メディアおよびコミュニケーションのアドボカシー活動の両方を通じて、最も効果的に聴衆に訴えることができると感じたり、できるだけ多くの人々に情報を伝えることが不可欠だと感じたりすることがあるかもしれません。そのような場合は、両方の戦略を恐れずに活用してください。メディアとより広範なコミュニケーションの取り組みは互いに補完し合うものであり、二者択一の戦略としてのみ捉えるべきではありません。

メディアと協力するさまざまな方法とはどのようなものですか？

小児科医がメディアと協力してメッセージを広め、意思決定者、地域社会のリーダー、一般市民の注目を集めるために利用できるツールは数多くあります。これらのツールの多くは電子形式で利用できるため、多忙なスケジュールの中でもますます便利になっています。実際、多くの記者は情報を電子的に受け取ることを好みます。件名を工夫し、本文をメール本文にコピーして貼り付けることを忘れないでください。多くの記者は、知らない人から送られたメールの添付ファイルは信用しません。

ピッチレター（売り込みの手紙）

ピッチレターは、メディアに問題を知らせるための第一歩です。これは、あなたの活動をメディアに紹介し、問題に関心を持ってもらうための方法です。ピッチレターは、編集者、記者、またはプロデューサーの注意を引くよう、個別に作成すべきです。

プレスリリース

プレスリリースは、あなたや AAP 支部が取り組む新しい政策、立場、地域社会のイニシアティブを発表するために使用できます。プレスリリースは、地域社会や州で最近起こった出来事や事象（例えば、こどもの健康デーや麻疹の流行など）についてコメントするために使用することもできます。

プレスイベントまたは記者会見

プレスイベントでは、問題に対する認識を高めるために開催される実際のイベントを報道してもらうために、メディアを招待します。プレスイベントは、皆さんがどのような活動を行っているかをメディアに紹介する絶好の機会であり、テレビや、ウェブ記事、雑誌、ニュースレター、新聞など、写真が掲載できる媒体に効果的な視覚資料を提供することができます。プレスイベントには、仕事や地域活動の一環として参加する予防接種クリニックや、あなた自身、AAP 支部、または他の組織が問題の解決のために開催する集会などが考えられます。 記者会見は、報道関係者を招いて短い会見を行い、そこで報道関係者に情報や新しい進展を共有するものです。 プレスイベントよりも一般的に形式ばったものとなります。プレスリリースは、プレスイベントおよび記者会見の両方に含めるべきであり、報道機関に背景情報を提供するとともに、イベントや記者会見の開催を知らせるものです。

ファクトシート

ファクトシートは、ピッチレターやプレスリリースに添付することができ、個人的な「ものがたり」や事例を裏付けるために使用すべきものです。ファクトシートは通常 1 ページの長さで、簡潔な声明やあなたの問題に関する統計が記載されています。

編集者への手紙

編集者への手紙とは、まさにその名の通り、新聞の社説ページに掲載されることを目的として編集者に宛てて書かれた手紙です。 これらの手紙は通常、すでに掲載された特定の記事や社説に対して書かれます。 編集者への手紙は、ある論点を明確にしたり、問題の重要性を強調したり、あるいはメディアで報道された最近の状況や出来事に対して単に反応したりするために利用することができます。

社説の編集

新聞社の編集委員会は、特に重要と見なされる問題についてしばしば論評します。これを社説と呼びます。社説ページの掲載は、新聞社の編集委員会と面会し、問題の重要性を説得することから始めます。社説は、どの問題が特に重要であるかを地域社会に知らせるメディアの手段であるため、問題の信頼性を高めるのに最適な方法です。

オピニオン記事

社説は、新聞社の編集委員会ではなく、一般市民が投稿するものです。オピニオン記事は、地域社会のリーダーや、こどもの健康と well-being の専門家である小児科医など、特定の分野の専門家によって投稿されることもよくあります。オピニオン記事は、編集者への手紙よりも長文であり、こどもの健康と well-being を代表して、意思決定者の行動や不作為に対する問題意識を高めたり、意見を表明したりするのに最適な方法です。

特集記事

特集記事は、主に人間味のある話題を基にしており、印刷物やウェブサイト、テレビやラジオのニュースで取り上げられることがあります。特集記事は、売り込みの手紙、最近の出来事や事件の結果、あるいは、あなたの問題が一般市民に広くアピールするものであることをメディアに示した結果として掲載されることがあります。特集記事は、あなたの問題に人間味を与えるのに最適な方法です。

雑誌

子育て、こども向け、赤ちゃん向けの雑誌は、固定読者層にメッセージを届けるのに最適な媒体です。雑誌の報道には、有料広告、ゲストコラムや社説、あるいは問題に関する特集記事などが含まれます。

テレビ

テレビでは、ニュースになっている特定のテーマに関するレポーターとのインタビュー、こどもの健康に関するイベントや集会のテレビニュース報道、トークショーへのゲスト出演などが考えられます。テレビは、問題や変化をもたらすために行われている取り組みについて、多くの人々に素早く伝える手段です。

ラジオ

ラジオはテレビと同様に、小児科医が問題について解説や啓発を行うために利用することができます。これは正式なラジオインタビューや、ラジオのトーク番組や電話による参加型番組を通じて行うことができます。

どのメディアを利用する場合でも、正確に、プロフェッショナルに、そして個人的にメッセージを伝えることに集中してください。誠実でわかりやすいメッセージであればあるほど、広く受け入れられ、尊重されるでしょう。

小児科医のアドボカシーストーリー

アルバカーキ・ジャーナル紙（私が住む州の最大の新聞）は、隔週でペットの健康に関する記事を掲載していました。私は、こどもたちの健康にもペットと同等の関心が向けられるべきだと考えました。そこで、ジャーナル紙の知り合いに手紙を書き、何度か働きかけた後、隔週のコラムニストとして採用されました。過去 6 年半にわたり、私はこどもの健康問題に関するコラムを書き（現在 175 本まで達しました）、それらに対して多くのコメントを頂きました。

ランス・チルトン医師、医学博士、小児科学会認定医
ニューメキシコ州アルバカーキ

より幅広いコミュニケーションツールを活用してメッセージを広めるには、どのような方法があるでしょうか？

メディアを活用する以外にも、より幅広いコミュニケーションツールを活用して、より多くの人々にメッセージを広めることができます。これらのコミュニケーションツールは、他の小児科医、医療従事者、保護者、学校、保育所、児童擁護団体など特定の対象者に向けたものだけでなく、一般市民を対象としたものもあります。広範なコミュニケーション手段には、以下のようなものがあります

ニュースレターや会報

AAP 支部、地域グループ、職場や教会、学校など、多くの組織が定期的にニュースレターや会報を発行しています。これらのグループの多くは、読者からの記事や情報の投稿、告知を定期的に募集し、奨励しています。あなたのような小児科医は、記事や情報、参加への呼びかけを投稿することで、これらの手段を活用し、問題への支援と認識を高めることができます。

人前でのスピーチやプレゼンテーション

人前で話す機会やプレゼンテーションの機会は、問題の重要性を訴えると同時に、他の人々と個人的なつながりを持つ機会となります。人前で話すことやプレゼンテーションは、学校、地域社会や市民団体（ロータリークラブや商工会議所など）、または年次会議や授賞式のディナーの一部として行うことができます。

インターネット

インターネットとは、ウェブサイト、電子メール、メーリングリスト、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービスなど、さまざまな種類の電子通信を可能にするネットワークを指します。インターネットは、情報、リソース、アドボカシーの機会を共有するためのほぼ無限の手段を提供します。インターネットは、調査の実施、問題に関するより詳しい情報の入手、問題に取り組んでいる他の個人やグループの検索と連絡に役立ちます。また、ウェブサイトや E メールによるコミュニケーションを通じて、こどもの健康と well-being に影響を与える問題について、他の人々に行動を促すアドボカシーのツールとしても活用できます。

情報ブース

情報ブースやアドボカシー関連のブースは、より幅広いコミニュケーション・ツールの一例です。これらのブースには、問題の内容やそれがこどもや小児科医にどのような影響を与えるかに関する情報が含まれており、他の人々が参加する機会を提供することができます。情報ブースは、職場、地元の学校、教会、こどもの健康に関心のある他団体のロビーなどに設置することができます。また、新学期のお祝い行事や町のお祭りなどの地域イベントでブースを設置することもできます。

どのようなコミュニケーション手段を選ぶにしても、メッセージが効果を発揮できるかどうかは、メッセージ次第であることを忘れないでください。メッセージは簡潔で目立つようにし、個人的な体験談や例を盛り込んで、問題を他人にとってより身近なものにするようにしてください。

インターネットがアドボカシー活動に役立つ方法について、もっと詳しく教えてください。

インターネットは、小児科医が他の人々とつながり、アイデアや関心を共有し、公開討論を行い、問題について話題を広めたり注目を集めたりし、共同でプロジェクトに取り組み、こどもの健康と well-being のために集団行動を起こす便利で効果的な手段を提供します。インターネットを活用して、問題への支援を構築し、アドボカシー活動を行うためには以下の方法を検討してください。

ウェブサイト

AAP 支部、勤務先、または他の協力団体に、ウェブサイトにあなたの問題に関する情報と、他の人がどのように関与できるかを掲載してもらうよう依頼します。ウェブサイトは、オンライン署名の受け付け場所としても最適です。また、あなたの問題に関心を持っている、またはあなたの取り組みを支持している、地域や州、あるいは全国の小児科医の氏名を公開する場所としても最適です。

メールリスト

同僚、患者の両親、友人、家族、その他のこどもの支援者たちにメールアドレスを聞いてください。問題に関する最新情報を定期的にメールで送信し、その問題について、彼らに代わって意思決定者に電話、手紙、E メールで連絡してもらうよう依頼します。知り合いにメールを転送してもらうよう、連絡先に依頼することも検討してください。電子メールやテクノロジーを利用してメッセージを広めることは、多くの人々に情報を伝える優れた方法であり、バイラル・マーケティング（口コミマーケティング）とも呼ばれています。

インターネットフォーラム

インターネットフォーラムは、特定のトピックについて、人々が時間をかけて議論を行うオンライン上の場所です。インターネットフォーラムは、メッセージ・ボード、ウェブ・フォーラム、ディスカッション・ボード、ディスカッション・フォーラム、ディスカッション・グループ、掲示板などとも呼ばれています。特にご自身の関心のある問題について、あるいは、こどもの健康や well-being 全般について取り上げているフォーラムを見つけ、メッセージや情報、参加を呼びかける投稿を行います。フォーラムへの投稿の利点は、時間をそれほど取られないことと、他の職務の合間にできることです。

ブログ

ブログとは、定期的に投稿を行う個人用の日記や日誌として機能するウェブページです。テクノロジーに関心があり、コミュニケーション・アドボカシー活動に毎月数時間を割くことができる場合は、ブログを作成して、ご自身の「ものがたり」を伝えたり、情報やリソースを提供したり、連絡先や同じ問題に取り組む他の団体のウェブサイトを掲載したりする方法を検討してください。小児科医のブログはそれ自体がオナーメディアを生み出す可能性があり、また、より詳しい情報を求めるレポーターやジャーナリストのためのリソースにもなりえます。

グループコミュニケーションツール

オンラインのグループコミュニケーションツールを使用すれば、あなた自身や、連携して活動する他の人々が、アドボカシー活動の情報、コミュニケーション、活動の管理を支援することができます。また、このツールは、人々に情報を提供し、新規メンバーを登録し、プロジェクトを管理するためのシンプルで簡単な方法でもあります。

インターネットやデジタル技術を利用して情報をやりとりする際には、何を盛り込むか、またそれをどのように書くかを考えることが特に重要です。それは簡単に広まるため、あなたのメッセージはあなたが考えているよりもはるかに幅広い層の人々に読まれる可能性が高いです。攻撃的または無礼な表現は避けましょう。また、あなたの投稿は反対派の人々にも読まれている可能性があるため、彼らに見られたくない戦略を明らかにしないよう注意してください。同時に、反対派のウェブサイトを訪問し、電子メールリストに登録しましょう。共通点となりうる分野や、準備すべき論点について、貴重な洞察が得られるかもしれません。

小児科医のアドボカシーストーリー

医学部、研修医、地域小児科フェローシップで患者のケアに携わる過程で、私は地域医療、こどものアドボカシー、医療政策に強い関心を持つようになりました。しかし、長年にわたるトレーニングを通じて、こどもの健康に影響を与える政策を理解することに苦労していると感じることが今でもあります。医学部の学生や研修医と仕事をしていると、私だけがそう感じているわけではないようです。私はインターネットの熱心なユーザーで、医療関連のウェブサイトをよく利用しますが、医療政策の基本情報を探すには、これらのサイトは使いにくいと感じています。そこで、私と私の同僚たちは最近、この問題を自分たちの手で解決し、小児科医やその他の医療従事者、臨床医に、こどもの健康とwell-being に影響を与える政策の基本的な説明を提供することを目的としたウェブサイトを開発することを決めました。

キャンディス・チェン医師
ワシントン DC、チルドレンズ・ナショナル医療センター

編集者への手紙、ニュースレター、インターネットなど、さまざまなメディアやコミュニケーションツールがありますが、これらのツールのうち、どれを使用すべきか、どうすればわかるのでしょうか？

使用するメディアやコミュニケーションツールに、正しいとか間違っているとかはありません。メッセージを伝えるために使用するツールよりもメッセージが最も重要です。選択するツールは、あなたの目標を反映したものでなければなりません。ツールは、時間の経過とともに変化する可能性があり、以下の要因によって異なります。

タイミング

達成しようとしていることの緊急性を考慮し、あなたが利用可能なメディアやコミュニケーションツールのタイミングとあなたの目標を比較検討してください。例えば、投票前など、緊急性の高い問題について人々に意思決定者に電話するよう促すためにメディアやコミュニケーションツールを利用したい場合、インターネットや日刊紙など、迅速に利用できるツールを使用します。メディアやコミュニケーションの締め切りや発行日を確認し、行動してほしいとお願いするタイミングが事後に印刷されることがないようにします。また、他の小児科医にアドボカシー活動について知らせるなど、時間的制約がそれほど厳しくない場合は、印刷物やニュースレターも活用してメッセージを伝えることも検討してください。

対象者

メッセージを伝えたい人々、つまり、あなたの問題に好意的に反応してくれるであろう人々について考え、彼らが利用しそうなメディアや情報発信源をターゲットにしましょう。例えば、幅広い層に訴えたいのであれば、一般市民の多くは今でもテレビからニュースを得ています。保護者に訴えたいのであれば、子育てや赤ちゃんに関する雑誌や出版物を利用しましょう。若い層に訴えたいのであれば、インターネットの利用を検討し、意思決定者に訴えたいのであれば、地元の新聞や社説・論説欄を利用するとよいでしょう。

関心とあなたにとって快適な方法

自分が使いやすいと感じるメディアやコミュニケーションツールを選びましょう。もしあなたが人前で話すのが苦手であれば、地元紙への投書や AAP 支部のニュースレター、ウェブサイトへの記事投稿など、印刷物に限定した方がよいでしょう。人前で話すのが好きであれば、スピーチやテレビ、ラジオなどを検討してください。テクノロジーに精通している場合は、ウェブサイト、ブログ、インターネットフォーラムなど、インターネットを活用してメッセージを発信することを検討してください。

メディアやレポーターと仕事をする際に留意すべきことは何ですか？

メディアと仕事をする際の要となるのは、強力で効果的なメッセージを持つことです。メディアとの仕事に取り掛かる前に、以下の点に留意しましょう。

話す内容を練習しておく

伝えたいこと、メッセージを個人的なものに仕上げるために共有したいこと、メッセージの結果として聴衆に期待することなどを、時間をかけて準備しましょう。

問題が重要である理由を明確にする

問題に関する個人的な経験を共有することで、メッセージを現実的で意味のあるものにしましょう。問題の影響を受けた人々、そしてなぜ変化が必要なのかについて、あなたの「ものがたり」を語りましょう。

簡潔かつ意図的な繰り返しを含んだメッセージを維持する

メッセージは簡潔にまとめ、最も説得力のある部分に焦点を絞ります。メッセージの最も重要な部分を意図的に繰り返すことは問題なく、むしろ推奨されます。例えば、「重要なことは ...」というような言い回しを使用してみましょう。

メッセージに加えて、メディアとの協力にあたっては、以下の提案事項を考慮してください。

まずは声明を述べ、その後に説明を加える

自信を持って述べられる声明（ワンフレーズ）を段落で述べ、その後に補足事項を付け加えましょう。例えば、「こどもたちへの保険は、アメリカの将来への重要な投資です。保険に加入しているこどもたちは、必要な時に必要な医療を受けられる可能性が高くなります。健康なこどもたちは、学校で学び、人生で成功するために、より良い準備ができます。」答えはそれぞれ短く、明確に述べ、あなたの主な主張が確実に伝わるように、繰り返し述べることをためらわないでください。

主張を最初に述べる

これは、小児科医や科学者として訓練を受けた方にとっては矛盾しているように感じられるかもしれません。医療や科学関連の分野で働く人々の多くは、結論を出す前に証拠を積み上げるように教えられます。しかし、メディアと仕事をする場合は、全く逆のことが当てはまります。メディアは、あなたの主張や見出しを最初に聞きたいと思うでしょう。

答えたい質問に答える

質問をメッセージへの橋渡しとして活用しましょう。相手が聞きたいことではなく、あなたが聞かせたいことを答えましょう。記事の最初の段落で引用されることを想定して考えましょう。

事実を伝える

こどもの健康と well-being は切実な問題であり、それを裏付ける強力なデータがあります。事実を根拠として活用し、統計のために個人的な体験談を犠牲にしないようにしましょう。

常に公式見解であることを前提とする

ラジオやテレビの司会者、ジャーナリストは、事前に「放送外」であなたと雑談し、話し合いをすることがあります。このような会話の間にメッセージを植え付けましょう。正式な会話やインタビューが始まる前でも、自分が何を言っているのかを意識しましょう。

関係を構築する機会を探しましょう

機会があれば、地元のニュースを担当する医療、科学、政治の各分野のレポーターに自己紹介しましょう。インタビューや背景情報の提供に喜んで応じられることを伝え、情報源として認知してもらいましょう。彼らの報道が気に入ったら、その仕事を褒め、彼らと連絡を取り続ける方法を探しましょう。

メディアは本当に私が言うことを気にするでしょうか？

メディアが小児科医であるあなたの意見を気にするのは、メッセージ性がありニュース価値のある「ものがたり」を探しており、報道したいと考えているからです。ニュース価値のある「ものがたり」を持つということは、あなたのメッセージが以下のようになっているはずです。

明確で説得力がある

一般の人々にも理解しやすいメッセージであるということです。

関連性があり、信頼性がある

共有すべき現実的で関連性のあるニュースや情報がある。

個人的なメッセージである

メッセージは、その問題が現実のものであることを示し、影響を受ける人々に人間的な側面を与える。

地域に密着し、適用できる

メッセージは、地域の人々に有意義な影響を与える。

小児科医として、メディアはあなたをこどもの健康と well-being に関する信頼のおける専門家と見なし、あなたのメッセージに関心を抱くでしょう。さらに、メディアにメッセージを共有することで、メディアに記事を提供できるだけでなく、あなたの問題が地域や州、そして全国のこどもたちにどのような影響を与えているかを示し、変化をもたらす手助けができる機会を得ることができます。

編集者宛に手紙を書くことは本当に効果があるのでしょうか？

はい。編集者宛に手紙を書くことは、世論に影響を与えたり、あなたの問題の重要性を示したり、関連する出来事に対応したりする上で非常に効果的です。また、選挙で選ばれた公職者や地域のリーダーは、編集者宛に手紙が寄せられることに注目しています。なぜなら、それは地域の人々が何を心配しているかを知る手がかりとなるからです。さらに、編集者への手紙は小児科医にとっても有益です。なぜなら、他の専門的な責務の合間に短時間で書くことができるからです。編集者への手紙を書く際には、以下のステップを考慮してください。

新聞やウェブサイトをざっと読む時間を取る

特に、あなたの問題に関連する記事や、こどもの健康と well-being 全般に関する記事を探す。

関心のある話題について回答する

あなたの問題とニュースの他の記事を関連付ける方法を見つけましょう。こどもの健康とwell-beingは、社会の多くの要因に関連しています。 あなたの問題を、現在行われているより大きな議論に結びつける方法を探しましょう。

手紙は短くする

編集者への手紙は簡潔で要点を明確にすべきです。250 語以下を目標にしましょう。多くの新聞には字数制限があるため、投稿規定を調べるために地元の新聞をチェックしてください。ほとんどの新聞には、投稿規定が掲載されたウェブサイトがあり、投稿先メールアドレスも記載されています。投稿する手紙をメール本文に貼り付けます。添付ファイルは送らないでください。ほとんどの記者や報道機関は、コンピューターウイルスの懸念から、不明な送信元からのメール添付ファイルを好ましく思っていません。

メッセージをレターの中心に

レターには、メッセージをわかりやすい形で盛り込むようにしてください。

自分の「ものがたり」を語る

レターには、読者がその問題に関心を持つべき理由、またはその問題が地域のこどもや家族、小児科医にどのような影響を与えるかを説明する個人的な「ものがたり」や経験談を含めるべきです。

地元紙に、私の問題について社説を書いてもらうにはどうすればよいですか？

地元紙の社説ページをモニターし、過去にどのような問題について論評してきたかを確認しましょう。 掲載された社説の論点について、賛成、反対、明確化、補強などの意見をオピニオン社説として投稿することもできます。

社説ページの取材は、新聞社の編集委員会との面談から始めることもできます。この面談には、支部のメンバー、協力している小児科医やその他の医療専門家、教師、保護者、こどもの支援者など、あなたの問題を支持する人々を同席させるようにしてください。そうすることで、あなたの問題に対する幅広い支持を実証することができます。あなたの主張を簡単に述べ、個人的な体験談や例、文書化された裏付けとなるデータや統計を提示します。最後に、編集委員会に直接、問題を取り上げてもらうよう依頼し、必要に応じてフォローアップしてください。AAP 支部が、編集委員会訪問の準備と段取りを手伝ってくれる場合もあります。

編集委員会が問題を取り上げた後は、同じ考えを持つ同僚、保護者、こどもの支援者、友人、家族を募り、編集者宛てに、または社説欄に、編集委員会の意見を支持する手紙を投稿してもらいます。そうすることで、あなたの問題についてさらに話題となり、活気が生まれるでしょう。編集者宛の手紙と一緒に、その社説のコピーを地域のリーダーや意思決定者に送付し、他の人々にも同様の行動を取るよう促しましょう。また、編集委員会に感謝の意を伝えることも忘れないでください。そして、あなたのメディアとコミュニケーションの取り組みを祝ってください！

メディアおよびコミュニケーション・アドボカシー活動の取り組みを始めるにはどうすればよいでしょうか？

メディアおよびコミュニケーション・アドボカシー活動には 4 つのステップがあります。

利用可能なメディアおよびコミュニケーションツールと仕組みについて調べる

地域や職場において利用可能なメディアおよびコミュニケーションツールやリソースについて検討します。病院や大学には通常、広報担当者がおり、地域テレビ局、印刷メディア、支部の広報など、利用可能なメディアやコミュニケーションのツールを特定する手助けをしてくれる場合があります。また、編集者への投書提出の締め切りや、地元の医療レポーターや編集委員会の連絡先など、利用可能なツールを効果的に活用する方法に関する必要な詳細情報を提供してくれる場合もあります。

メッセージを広める機会を探す

ニュースを見たり、ラジオを聴いたり、お気に入りのインターネットサイトをモニターしたり、新聞を読んだりしましょう。注目されている問題に目を向け、それらの問題を、特にあなたの問題、あるいはこどもの健康と well-being 全般に対する認識を高める方法として利用する機会を探しましょう。例えば、暴力的なビデオゲームがメディアで注目されている場合は、これを機会として、地域社会で実施されているこどもの健康と well-being に関する前向きな取り組みについて、あるいは、こどもが見る映像を監視することの重要性を親に教育する取り組みについて、話す機会としましょう。

また、機会を待つのではなく、自分自身や支部が積極的に問題をメディアの注目に値するものとして取り上げなければならない場合もあるでしょう。AAP 支部は、プレスリリースを書いたり提出したり、編集委員会と会合を持つなどして、メディアの注目を集めるお手伝いをすることができます。

メッセージの発信

メッセージを準備し、練習してから発信しましょう。メディアのインタビューに参加したり、記事や編集者への手紙を書いたり、地域グループにプレゼンテーションを行ったり、インターネットのフォーラムにメッセージを投稿したりする方法が考えられます。どのようなメディアやコミュニケーションツールを選ぶ場合でも、メッセージがあなたの主張の核心を明らかにし、あなたの問題の重要性を示し、あなたの問題をこどもの健康に関するより大きな問題と関連づけ、簡潔な形式になっていることを確認してください。

メッセージの繰り返し

メッセージを強化し、人々に問題の重要性を常に意識してもらうために、メディアやその他のコミュニケーションツールで、メッセージを繰り返す機会をさらに探しましょう。問題に関する追加の記事や最新情報を投稿したり、新しいストーリーを共有したり、同僚や友人、あるいは他のこどもの支援者にメディアにフォローアップの手紙やストーリーを投稿してもらう、あるいはより幅広いコミュニケーションツールを利用するなどして、これを実現できます。

AAP 第７章

キャンペーンや選挙における小児科医の声

*本章では、小児科医が**選挙運動や選挙プロセスを党派色のない方法で活用し、候補者や選出された役人の意識の中で、こどもたちの健康と well-being を高める方法を説明します。**また、小児科医が、こどもの健康を最優先事項とする意思のある人物を、合法的な超党派活動を通じて選出された役職に就かせる手助けをする方法についても説明します。*

市民として、また自分自身を代表する立場として、政治運動や選挙プロセスに、ご自身が望む方法で参加することができます。例えば、献金、選挙運動や候補者の代理としてのボランティア活動、または自ら公職に立候補するなど、さまざまな方法で政治活動に参加することができます。ただし、このような活動を行う際には、AAP 支部、非営利団体、または勤務先の代表者としてではなく、あくまでも個人として参加することが非常に重要です。ただし、支部または所属団体から許可を得ている場合、およびそのような活動が該当する税法上のガイドラインで許可されている場合に限ります。

Ⅰ. なぜ政治的キャンペーンと選挙が重要なのか ～誰が決定するかを決める

多くの小児科医や、こどもの健康と well-being に関心が高い人々は、なぜ政治運動や選挙に関心を持ち、参加しなければならないのかと疑問に思っています。政治や選挙に対して懐疑的な人もいますが、選挙プロセスに参加することは、地域社会や州、そして全国的にこどもの健康と well-being を優先させる上で非常に重要なことです。小児科医やこどもたちにとって、政治運動や選挙への参加がなぜ重要なのか、その理由を考えてみましょう。

- 政治運動や選挙活動を通じて、小児科医は、立候補者たちの注目に値する有権者層として自らを確立することができます。また、小児科医やこどもたちの健康を気遣う人々が、こどもの健康と well-being を念頭に置いて投票していることを意思決定者に伝えることができます。
- こどもたちの健康を優先事項とする意思のある人々を選出することは、こどもたちの健康のためのより良い公共政策や取り組みにつながります。
- 政治キャンペーンや選挙に参加することは、選挙運動中の候補者や選出された議員にこどもの健康に関する意見を求めることで、彼らを教育するもう一つの方法となります。
- 投票をこどもの健康と結びつけることで、同僚、両親、友人、隣人など、他の有権者に対して、公共政策の決定が患者とその家族にどのような影響を与えるかについて教育することができます。
- 政治キャンペーンや選挙活動は、特にあなたの問題や、こどもの健康と well-being 全般に対する機運を高めるのに役立つ熱量を生み出すことができます。
- 党派を超えた政治キャンペーンや選挙活動は、あなたのアドボカシー活動、メディアやコミュニケーション、専門的ケア活動を補完し、こどもの健康と小児医療の問題に取り組む包括的なアプローチを提供します。

Ⅱ．政治キャンペーンや選挙をどのように活用して問題の解決を推進するか ～早期かつ頻繁に支援を表明する

政治運動や選挙への関与は、一般的に次の 3 つの基本的な活動分野に分類されます。有権者登録、有権者教育、有権者動員（投票日外出作戦、GOTV）。支部や他の非営利団体の一環として、これらの有権者参加活動に党派に関係なく参加できる方法は数多くあります。

有権者登録

有権者登録とは、選挙の日に合法的に投票できるよう、新たに有権者となった人や、以前は有権者であったものの登録を抹消された人を登録することを指します。有権者登録は、こどもの健康問題に関心を持つ人々が、投票所でその関心と懸念を表明できるようにするものです。有権者登録に関する法律は州ごとに異なるため、お住まいの地域の有権者登録に関する詳細については、州務長官事務所または州または地域の選挙管理委員会にお問い合わせください。

小児科医として個人として参加できる選挙人登録活動には、以下のようなものがあります。

- 他の人々に選挙人登録を促す。多くの人は、自分にとって最も身近な人々はすでに選挙人登録をしていると思い込んでいますが、必ずしもそうではありません。日頃から関わりを持つ人々、つまり、家族、友人、近隣住民、他の小児科医、医療従事者、そして患者の両親などに働きかけ、選挙人登録をするよう促しましょう。
- 職場において、有権者登録カードや有権者登録情報を掲示する。
- 前回の選挙以降に引っ越しや転居をした場合は、自分が有権者登録されていることを確認する。

AAP 支部または他の非営利団体が関与できる有権者登録活動には、以下のようなものがあります。

- 支部または非営利団体の会員に有権者登録カードを郵送する
- 支部または団体のニュースレター、またはウェブサイトに有権者登録情報を掲載する
- 支部または団体の会議、会議、イベントで有権者登録テーブルを設置する

有権者教育

有権者教育とは、有権者が、自分にとって重要な問題（例えば、こどもの健康や小児医療の問題）について候補者の立場を知るのに必要な手段を提供することを意味します。有権者教育活動は、問題に対する一般の人々の意識を高め、政治運動や選挙の過程で起こる公の討論にこどもの健康問題が確実に含まれるようにする素晴らしい方法です。

小児科医個人として参加できる有権者教育活動の例としては、以下のようなものがあります。

- ご家族、ご友人、ご近所の方、患者さんのご家族、同僚の医療従事者の人たちに、特にこどもの健康と well-being 全般について、また、選挙で選ばれる候補者がこの問題についてどのような立場をとっているかについて説明すること。
- 患者さんのご家族や同僚が吟味できるように、職場において議員個人の投票記録や有権者教育資料を提供すること。明確な支持や批判は避けるべきですが、小児科医であるあなたは、患者や同僚に議員の投票記録情報を提供することができます。
- あなたの問題について候補者に教育を行う。候補者があなたの家に来たとき、あるいは地域で選挙運動をしている候補者とばったり出会ったときは、自己紹介をし、特にあなたの問題について、またこどもの健康と well-being 全般について、候補者がどのような立場なのかを尋ねてください。友人、同僚、患者の家族にも同様に働きかけ、得られた情報を AAP 支部と共有してください。

支部または他の非営利団体が実施できる有権者教育活動の例を以下に示します。

- 候補者フォーラムを開催し、各候補者が聴衆の前で同じ質問に答える機会を設ける。候補者フォーラムの取材にメディアを招待することを検討する。
- こどもの健康と well-being に関する問題に対する候補者の回答を、AAP 支部または団体のニュースレター、あるいはウェブサイトに掲載する。支部やその他の非営利団体は、すべての候補者の回答が含まれ、候補者間の優劣が明らかでない限り、問題に関するアンケートへの候補者の回答を公表することができます。
- 支部または団体の会合、会議、イベントに候補者を招待する。

有権者の動員（GOTV）

Get-Out-The-Vote（GOTV）活動は、有権者が選挙日に投票所に行き、こどもの健康と well-being のために投票できるように支援するものです。

小児科医個人として参加できる GOTV のアイデアには、以下のようなものがあります

- 投票する。選挙日には、直接投票所に行くか、不在者投票を行う時間を確保してください。投票権を行使することで、こどもたちのために尽力する意思決定者を当選させることができます。公共政策の行方は、当選した人々の手に委ねられることを忘れないでください。
- 雇用主と協力し、従業員が投票できるように 30 分間の遅刻または早退を認める。あなたが雇用主である場合は、従業員が投票所へ投票に行く時間を確保し、奨励してください。さらに、雇用主に、選挙の直前の給料支払日に GOTV のチラシを給与明細に同封するなどして、一緒に働く人たちに投票を促すよう依頼してください。
- 小児科の研修医が投票に行く時間を確保できるよう配慮する。研修医が投票に行く時間を確保できない場合は、不在者投票を奨励する。
- 選挙の日に接する人々（家族、友人、同僚、患者の家族、近所の人など）に投票を促す。

- 職場に投票所を含めた GOTV ブースを設置する。必要に応じて、患者の家族を投票所に車で送ってくれるボランティアを募る可能性を検討する。
- 職場に「今日投票しよう」という看板をわかりやすく掲示する。

AAP 支部や非営利団体が参加できる GOTV 活動には、以下のようなものがあります。

- 選挙の日に会員に GOTV リマインダーの電子メールを送信したり、電話をかけたりして投票を促す
- 支部や団体のウェブサイトやニュースレターに GOTV リマインダーを大きく掲載する
- 支部、組織、またはコミュニティのメンバーが投票所の場所や行き方を調べたり、投票所までの送迎を手配したりできる投票ホットラインを主催する

FAQ よくある質問

選挙プロセスは、こどもの健康と well-being に関する問題にどのような影響を与えますか？

選挙で選ばれた議員は、こどもたちの健康プログラムやサービスにどれだけの予算が割り当てられるか、メディケイドなどのさまざまなプログラムやサービスがどのように運営されるか、また、これらのプログラムやサービスへのアクセスやその費用負担が誰に委ねられるかなど、あなたが関心を持っている問題について決定を下す権限を持っています。

小児科医には、こどもの健康と well-being を気にかける他の人々（あなたの家族、友人、隣人、他の小児科医、医療従事者、そしてあなたの患者の家族など）を巻き込み、彼らにとって重要な問題のために選挙活動に参加してもらう力があります。
力を合わせれば、小児医療問題を理解し支持する人々を権力のある地位に就けることができます。また、候補者に対して、有権者にとって、そして候補者自身にとっても重要な問題として小児医療とこどもの well-being を考慮するよう働きかけることもできます。

政治運動や選挙には莫大な資金が費やされていますが、私は実際にどのような違いを生み出すことができるのでしょうか？

選挙プロセスに与える影響は、あなたが考えている以上に大きなものとなる可能性があります。多くの人々が選挙に費やされる莫大な金額に嫌気がさし、政治プロセスに対して懐疑的になっています。小児科医は、有権者に、自分たちの投票と声がこどもの健康と well-being のために変化をもたらすことができると納得させるのに、他に類を見ない立場にあります。こうした会話は、患者の家族や地域社会との個人的なつながりや信頼関係を通じて、あなたの信頼性を高めることができます。また、有償の政治広告よりも有権者の関心を引き、効果的な場合が多くあります。さらに、地方選挙への参加も検討してください。地方選挙は、非常に僅差で決着することが多く、あなたの関与がもたらす影響をより明確に把握する機会となります。

政治キャンペーンや選挙への参加に制限はありますか？

一般市民として、ほとんどの政治キャンペーンや選挙活動に参加することができますが、AAP または支部を代表しての政治活動や選挙活動にはいくつかの制限があります。政治キャンペーンや選挙は、こどもの健康問題について有権者を関与させ、教育し、動員する好機となりますが、小児科医として、また支部や非営利組織の一員として、合法的に参加できる活動について認識しておくことが重要です。

支部や組織の課税状況により、特定の政治活動や選挙活動が制限されたり禁止されたりすることがあります。また、雇用主（連邦政府、州、郡の機関の職員である場合や、給与が連邦助成金で支払われている場合など）から課される制限についても確認する必要があります。一般市民として行動する場合は、AAP の肩書きを使用することはできません。AAP の推奨を暗示する可能性があるからです。

自分の問題を前進させるために政治運動や選挙を有効に活用するには、何を知っておくべきでしょうか？

自分の問題を前進させるために政治運動や選挙を有効に活用するには、次の 4 つのことを知っておく必要があります。

規則を忘れないこと

個人として、また支部、非営利団体、勤務先のメンバーとして何ができるかについて理解しておきましょう。AAP は支部に対して、合法的に許容される非党派活動に関する情報を提供しています。詳細については支部または AAP にお問い合わせください。

投票とこどもの健康との個人的なつながりを作る

投票が自分にとってなぜ重要なのか、その理由を具体的に説明しましょう。 患者や小児科医の職務に影響を与える問題が、選挙で選ばれた人々によって大部分が決定されることを、時間をかけて他の人々と共有しましょう。

メディアやコミュニケーションツールを活用し、個人的なつながりを活用する

メディアや幅広いコミュニケーションツールを活用して、有権者に問題について啓発し、投票を促しましょう。同時に、面と向かっての会話の重要性も軽視してはなりません。有権者候補に直接働きかけることは、こどもの健康問題のために選挙日に投票所に行くよう促す上で最も効果的な方法のひとつです。

選挙活動は選挙日で終わりではないことを忘れないでください

選挙日が終わった後も、選出された政治家と協力し、彼らが職務を全うする間、こどもの健康と well-being が優先事項であり続けるよう働きかけましょう。彼らに教育を続け、こどもの健康と小児医療に関する問題の擁護者となるよう求めましょう。

政治運動や選挙への関与はいつ始まり、いつ終わるのでしょうか？

ほとんどの人は、選挙の直前だけが政治や選挙のプロセスに貢献できる唯一の時期だと考えています。確かに選挙直前の期間は重要な時期ですが、実際には、1 年を通じて政治運動や選挙活動に関与できる重要な機会が存在します。 選挙日以降、小児科医個人として、あるいは支部や非営利組織の一員として、こどもの健康と well-being の向上に貢献できる活動には、以下のようなものがあります。

新たに選出された、または再選された公職者を訪問する

選挙が行われれば、交代は当然起こることです。選挙後すぐに、あなたや支部、非営利団体が新たに選出された公職者と関係を築くことが重要です。新たに選出された公職者の選挙区で会合を設定します。面会ができない場合は、代わりに選出された公職者に電話を入れましょう。この機会を利用して、特にあなたの団体の問題について、また、こどもの医療全般について、公職者に理解を深めてもらうようにしましょう。支部の一員として新しく選出された公職者と面会する場合は、次期会期における支部の立法目標を強調しましょう。公職者およびそのスタッフと今後連絡を取るための下地作りとして、この面会を活用しましょう。

特別な就任式の活動を計画する

支部や非営利団体と協力して、州の就任式計画委員会に連絡し、「こどもの就任式」の開催を提案したり、新しく選出された政府関係者とこどもたちの健康に関するレセプションを独自に計画することを検討したりしてください。このようなイベントは、こどもの健康と well-being のために活動を始める新しく選出された政府関係者の意識を集中させるのに役立ちます。

「こども閣僚会議」の設立に向けて活動する

支部と新しく選出された公職者と協力して、市、郡、州にこども閣僚会議を設立しましょう。このグループは、こども向けのサービスが調整され、参加する機関や公職者が共通の目標を達成するために協力し合うことを確実にするのに役立ちます。こども担当窓口に関する詳細は、全米知事協会（National Governors Association）の「こども担当窓口に関する知事ガイド（A Governor's Guide to Children's Cabinets）」をご覧ください（http://www.nga.org/cda/files/0409GOVGUIDECHILD.pdf）。

候補者や選挙サイクルについて、さらに詳しく知るにはどうすればよいですか？

選挙サイクルや候補者は、州や都市によって異なります。また、AAP は選挙サイクルごとに「州および連邦選挙リソース」パックを作成しています。この資料は、小児科医や支部が地元の重要な選挙について学ぶのに役立つように作成されています。また、合法的に認められている有権者参加活動の計画や参加を支援する目的もあります。多くの AAP 支部では、地元の選挙サイクルや候補者に関する情報も提供しています。さらに、支部が主催する重要な政治キャンペーンや選挙活動について支部から連絡があり、会員が参加できる場合もあります。

投票は極めて個人的な選択です。私は本当に、他の人々の投票の選択について話すことができますか？

AAP 支部または他の非営利団体のメンバーとして、誰に投票すべきかを人に勧めることはできませんが、こどもの健康と well-being を考慮した投票の重要性を話すことはできます。患者の家族や同僚、そして地域社会の人々は、あなたを信頼し、こどもの健康と well-being の分野における専門家としてみなしていることを忘れないでください。こどもたちのことを気にかけている人であれば、あなたの意見に興味を持ち、こどもたちに影響を与える問題が政治や選挙のプロセスとどのように関連しているのかについて学びたいと思うでしょう。こどもの健康と well-being を考慮した投票の重要性を誰かに話す際には、以下のことを考慮しましょう。

何が危機に瀕しているかを説明すること

患者の家族、こどもの支援者、同僚など、人々に対して、党派に関係なく、自分自身や自分たちが気にかけているこどもたちが選挙によって得るもの、失うものを説明します。例えば、「私たちはメディケイドへのさらなる資金削減を望んでいません。これらの決定は、今度の選挙で選出された人によって行われます。私たちが選ぶ人々がこどもの健康を考慮しているかどうかを確認する必要があります。」

望ましい行動を強調する—投票する

投票を促す際にありがちな間違いは、投票しないことを当たり前のこととして強調してしまうことです。「こどもの健康を考えて投票する人が少ない」という言い方は、投票しないことを正当化してしまいかねません。「こどもの健康を考慮せずに投票する市民が多数いることは恥ずべきことだ」と言うのではなく、「こどもの健康を最優先事項として考えずに投票する人がいることは恥ずべきことだ」と言う方が、より動機付けにつながります。

自分の「ものがたり」を語る

これまでこどもの健康を考慮せずに投票してきた人々に対しては、かつては自分と同じような考え方だったが、こどもの健康と well-being を優先して定期的に投票するようになった人物が最も効果的でしょう。「以前は、自分の 1 票など何の影響もないと思っていたが、選挙で選ばれた人々と私が関心を持っている問題に対する彼らの影響力との直接的なつながりが理解できるようになってきた」と正直に言える小児科医は、非常に効果的でしょう。こどもの健康を考えて投票した実体験を思い出し、これらの例を他の人との会話に取り入れてください。

公約を求める

こどもの健康を考慮して投票する意思を公に表明するよう人々に求めることで、その意思を貫徹する可能性が高まります。

次のステップへ

こどもの健康を考えて投票するよう説得された人々を、さらなる支援を提供できる組織（AAP 支部や非営利団体など）につなげます。これらの組織は、投票所を見つける手助けや、投票に関するその他の質問への回答を提供できる可能性が高いでしょう。

政治運動や選挙に具体的にどのように関与できるでしょうか？

政治運動や選挙を通じて、小児科医個人として、あるいは AAP 支部やその他の非営利団体のメンバーとして、こどもの健康と well-being の向上に貢献する方法は数多くあります。選挙プロセスを通じてこどもの権利を擁護するために、以下のアイデアを検討してください。

- 候補者に、あなたや他の小児科医、研修医とともにグランドラウンドやその他の専門分野の会合に参加してもらう。
- 候補者に、地域社会や専門分野の活動に参加してもらう。
- 同僚とともに候補者の歓迎会を主催する。
- 「こどもたちのためのアジェンダ」を策定し、候補者にアジェンダへの支持を誓う署名をしてもらう。これらの誓約をメディアに公表する。
- 支部、地域社会、または職場において、有権者登録運動を主催する。
- 地元の学校、保育所、または職場において、こどもの投票活動を支援する。
- 支部または非営利団体と協力して、こどもの健康問題に関する候補者の立場を把握するための調査を実施する。

- 支部、地域社会、または職場におけるニュースレターやウェブサイトなどのコミュニケーションツールに、有権者登録、教育、動員に関するメッセージを盛り込む。
- 「こどもたちのために投票しよう」というプラカードを作成し、自宅や職場に置く。
- 1 年を通じて、友人、家族、同僚、患者の家族に、こどもの健康を考慮した投票の重要性を話し、特に選挙の前にはそのことを伝える。
- こどもの健康問題について、新たに選出された、または再選された公職者に年間を通じて連絡する。

終わりに

こども基本法を背景として国や各自治体において、こどもの意見聴取と政策への反映の取り組みが始まっています。小児医療の中でも様々なこえに出会い、その中でこどもの課題に直面する場面も少なくありません。そういったこどものこえを社会の課題として共有し解決につなげていくことは小児医療にかかわる専門職にとっても大切な役割です。

今回、米国小児科学会（American Academy of Pediatrics: AAP）が発行しているアドボカシーガイドを、AAP の許諾を得て翻訳いたしました。この中にはアドボカシー活動にどのように取り組んだらよいかについてのノウハウが具体的に記されています。制度など我が国と異なる内容もありますが、考え方を学ぶためには非常に良い資料だと思います。是非アドボカシー活動を行う際の参考にしていただければと思います。このガイドをきっかけに多くのアドボカシー活動が行われていくことを願います。

2025 年 3 月吉日

日本小児科学会
JPS-AAP こどもアドボカシー・ワーキンググループ 委員長
成育医療研究開発費事業 2024E-2
「小児科医のためのアドボカシー活動の普及・啓発・
プラットフォーム整備」研究代表者
余谷暢之

謝辞
翻訳に際して協力いただいた以下の皆様に心から感謝申し上げます
伊藤健太先生、小川優一先生、小橋孝介先生、利根川尚也先生
松島崇浩先生、諸岡雄也先生、山元志穂先生、山本啓央先生